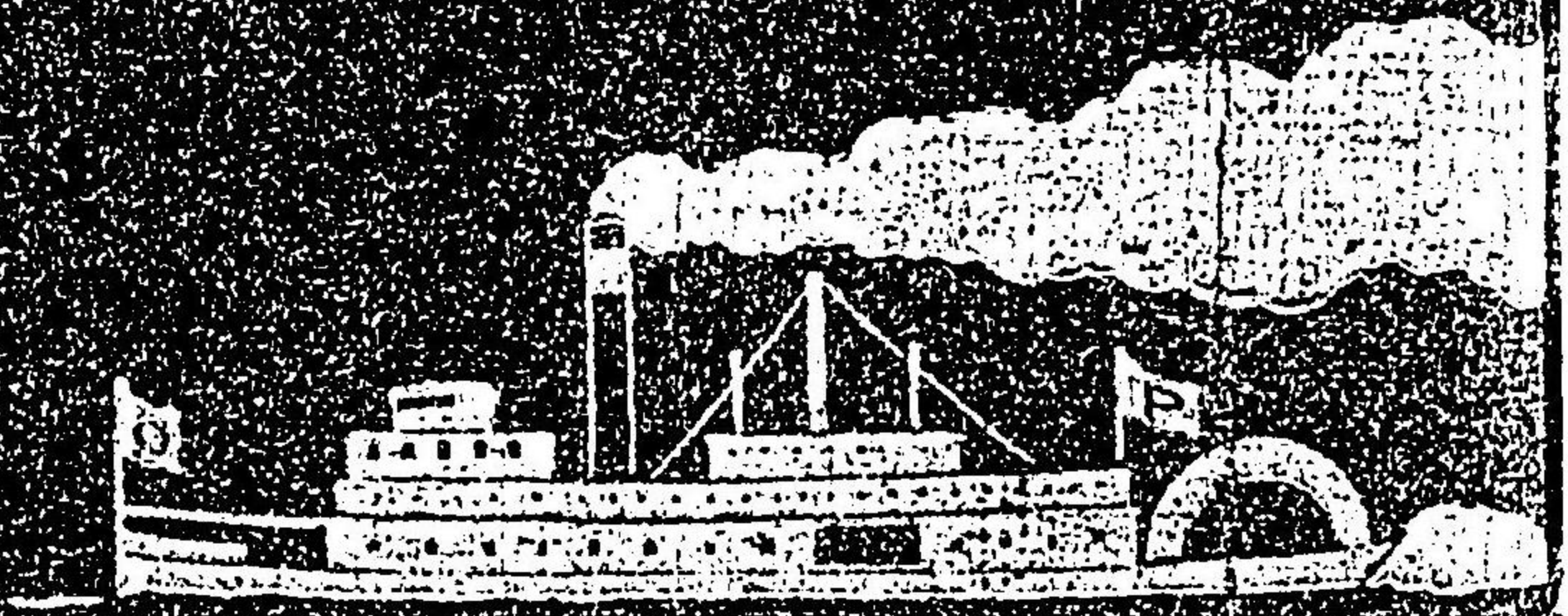


25
867



25-867

OREGON

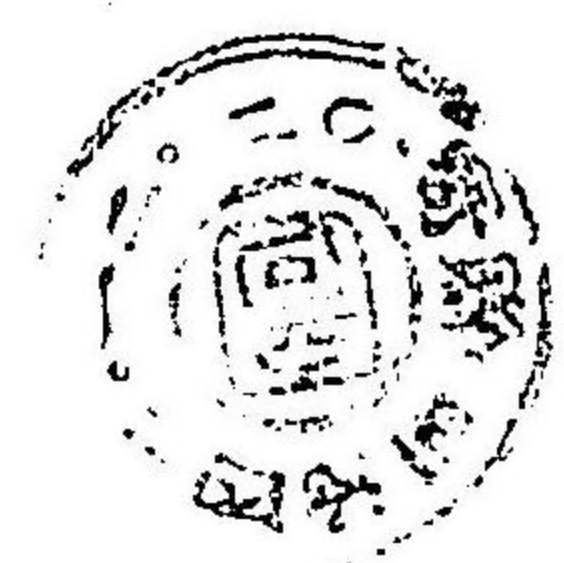
DR. Y. KUODO & T. ABE

央
玲
官
事
情

領事沼野安太郎君序
工藤陽太郎共纂
阿部豊治

發行所
印刷所

ポートランド市北第五街十一番
シアトル市南第六街七百十九番
萬友社
太平洋印刷會社



九州日報社

『央玲崑事情』ニ序ス

央玲崑州ハ其人口未ダ七十方ヲ出デズト雖其面積ハ韓國ヨリモ大ナル
ノミナラズ地味豊沃氣候溫暄民俗敦厚ニシテ未開ノ富源州内ニ充ツ然
ルニ邦人ノ多數ハ由來清韓方面ノ事情ニ詳ナルニ反シ均シク太平洋ノ
潮水ヲ隔テ、勃興シツ、アル米國太平洋沿岸諸州ノ事情ニ至リテハ漠
トシテ之ヲ知ルモノ稀ナリ況ンヤ央玲崑州ノ事情ニ就テハ現ニ米國ニ
在留スル邦人ニシテ之ニ通ゼザルモノ多キ今日ニ於テ一般邦人ノ之ヲ
知ラザル亦敢テ怪ムニ足ラザルナリ
輓近在米日本問題ニ關シ政客操觚者等ノ論議ヲ公ニスルモノ一ニシ
テ足ラズト雖其所論觀察往々一地方ニ限局セラレ或ハ事實ニ遠ザカレ
ルモノアルヲ見ル是レ畢竟央玲崑州ノ事情未ダ弘ク世ニ紹介セラレザ
ルニ由ル
ボトトランド在留同志ノ者深ク之ヲ遺憾ナリトシ本年五月工藤阿部ノ
兩氏ニ囑シテ央玲崑事情ヲ編纂セシム余亦大ニ其舉ヲ贊ス稿漸ク成リ
之ヲ梓ニ上スニ方リ阿部照洋君來リテ序ヲ余ニ覓ム乃チ此書ノ邦人ニ
裨益スル所鮮少ナラザルベキヲ信ジ燕言ヲ列ネテ茲ニ本書ヲ世ニ紹介
スルコト爾リ

明治四十二年八月

沼野生識

はしがき

沿岸第一の勝景地と稱せらるる、オレゴン州は又第一の富源地として認めらるべき多くの理由を有す、然れども今日に於ては只其十分の一を開拓せられたるのみ、而して此未開の富源地に拓殖せらるべき在留同胞の好望なる運命は之れを認むる者ありと雖も、更らに進んで之れを世上に紹介せんとする者なし。是れ生等無學無識の身を以て、遂に其衝に當りし所以にして亦此書を廣く世に配布するに至りし次第也、而かも余は編纂の一員たりしと雖も、此書の要部は凡て詞兄工藤陽太郎氏の筆に成りしものにして、余は氏が全く献身的に在留同胞社会に盡きたるを深く謝するものなり。此書が杜撰の罪は總て余の犯す處のものなり、只若し此書の爲めに多少の裨益を享くる士あらば其厚情の凡てを詞兄工藤氏に與へられよ、尙此書の主旨は我が央玲崑在留同胞の爲めにのみ編纂せるものにあらず、敢えて在留同胞一般の將來を思ふ同好の士に之を捧げんとするものなり。

追記

一、此書發刊の爲めに印刷費を寄與せられたる沼野領事其他の有志者及び編輯に助力されたる岡崎庄八、妹尾萬郎、成澤金兵衛諸氏の厚情を謝す。
二、此書の附録として等しくボ市領事館の管轄地たるアイダホ及びワイオミング州の事情を紹介する筈なりしも小冊の到底盡し得る處にあらざるを以て、後日改めて該兩州の事情に關する著述を公にすることとせり。

一千九百〇九年

阿部豊治

目次

第一編 オレゴン州の富源

第一章 オレゴン州の地理

位地……各州との交通……面積及人口……好機會の地……地勢及地域……地味及氣候……灌溉……運輸

第二章 オレゴン州の産業

山林及木材……鑛山及鑛業……水産及漁業……畜類及牧畜業……農産物及農業……製造業……商業及貿易

第三章 オレゴン州の教育及宗教

第四章 産業地としてのオレゴン州

富源の無盡藏……農業教育の中心……農業の趨勢……オレゴン州の穀作……酪農……家禽業……ハツプス……菜園果樹園

第五章 事業經營の方針

土地所有權……土地購入の方針……購入したる土地の處分

第六章 ポートランド市

位地……合衆國有数の淡水港……商業貿易の中心……製造業の根據地……メトロポリス……教育及美術……建築水道及公園……郊外……舊祭

第二編 オレゴン州の日本人

第一章 官府……帝國領事館

第二章 公共團體

オレゴン州日本人聯合協議會……宗教團體……婦人團體……娛樂機關……地方團體……組合

第三章 日本人の事業

新聞……會社……ホートランド市内營業者……日本人農業者……地方の雜業者……屋内労働者……日本人土地所有者……發展の方向

▲オレゴン州の米人は日本人を歓迎す

▲オレゴン州は日本人の土地所有権を認む

▲オレゴン州の富源は日本人の手によりて

開かるべき也



▲ 家志有及家業電市 ▲

市實業家及有志家

(上段)

伴 新三郎

蜂谷 証吉

内田 堯

山田 醫士

山谷 齒科醫

鳥越若三郎

(外に實業家中小原

商店主、桐山商店

主の小照を欠ぐ)

(中央)

金森 醫士

熊本秀太郎

沼野 領事

松島茂三郎

秋洲書記生

高橋 光顯

(後列)

中橋 文一

渡邊 齒科醫

鍛川 佐一

大友 醫士

曾谷 忍吉

小路 虎喜

(前列)

仁熊長太郎

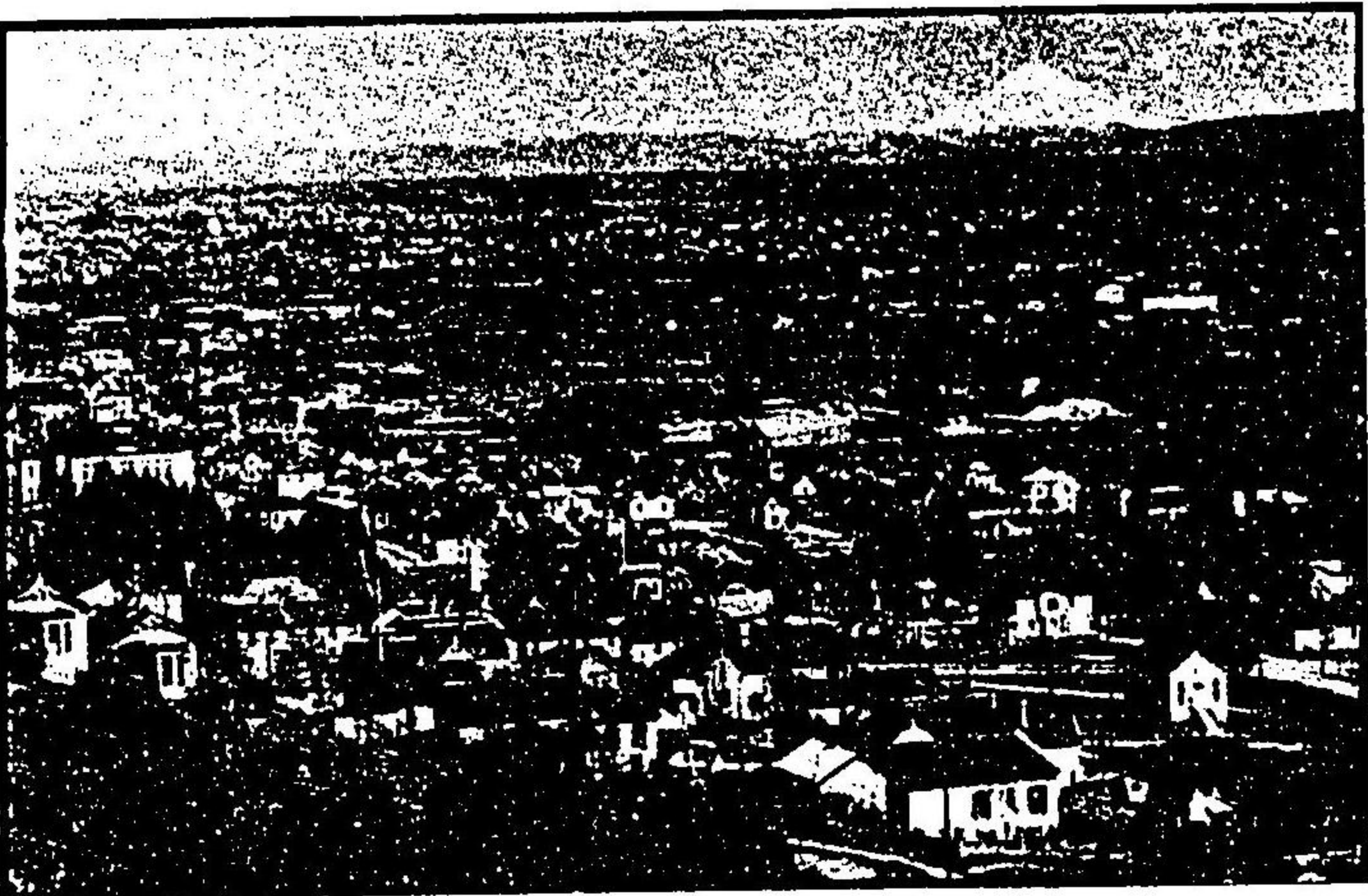
下村 眞鋤

陣内 圓藏

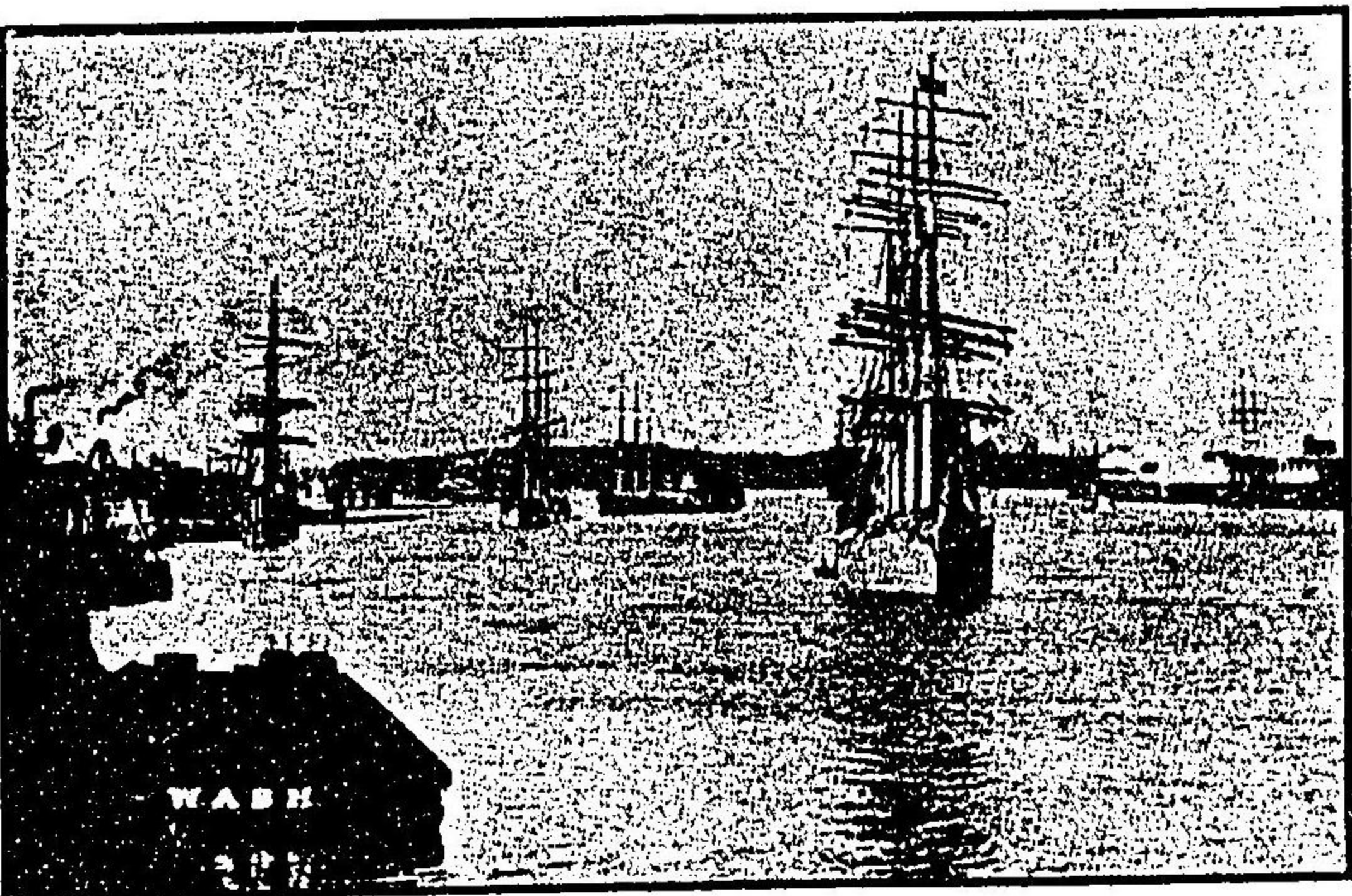
染川 愿策

宮本 大藏

ボ市全景
(セトヘン山遠望)



ボトラードラント港
(カキメラツト河)



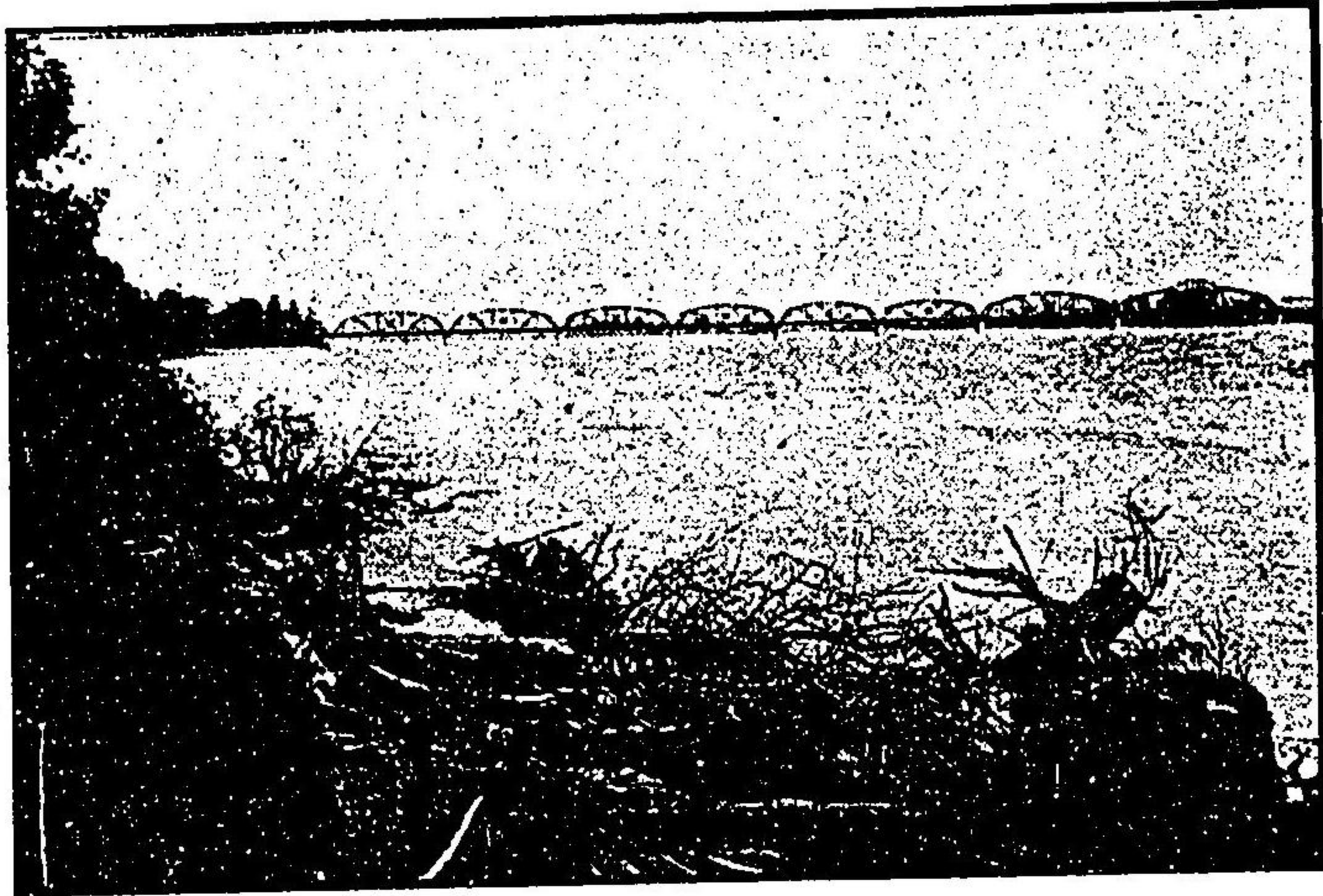
園苺の營經人本日
(ルーデスルヒ)



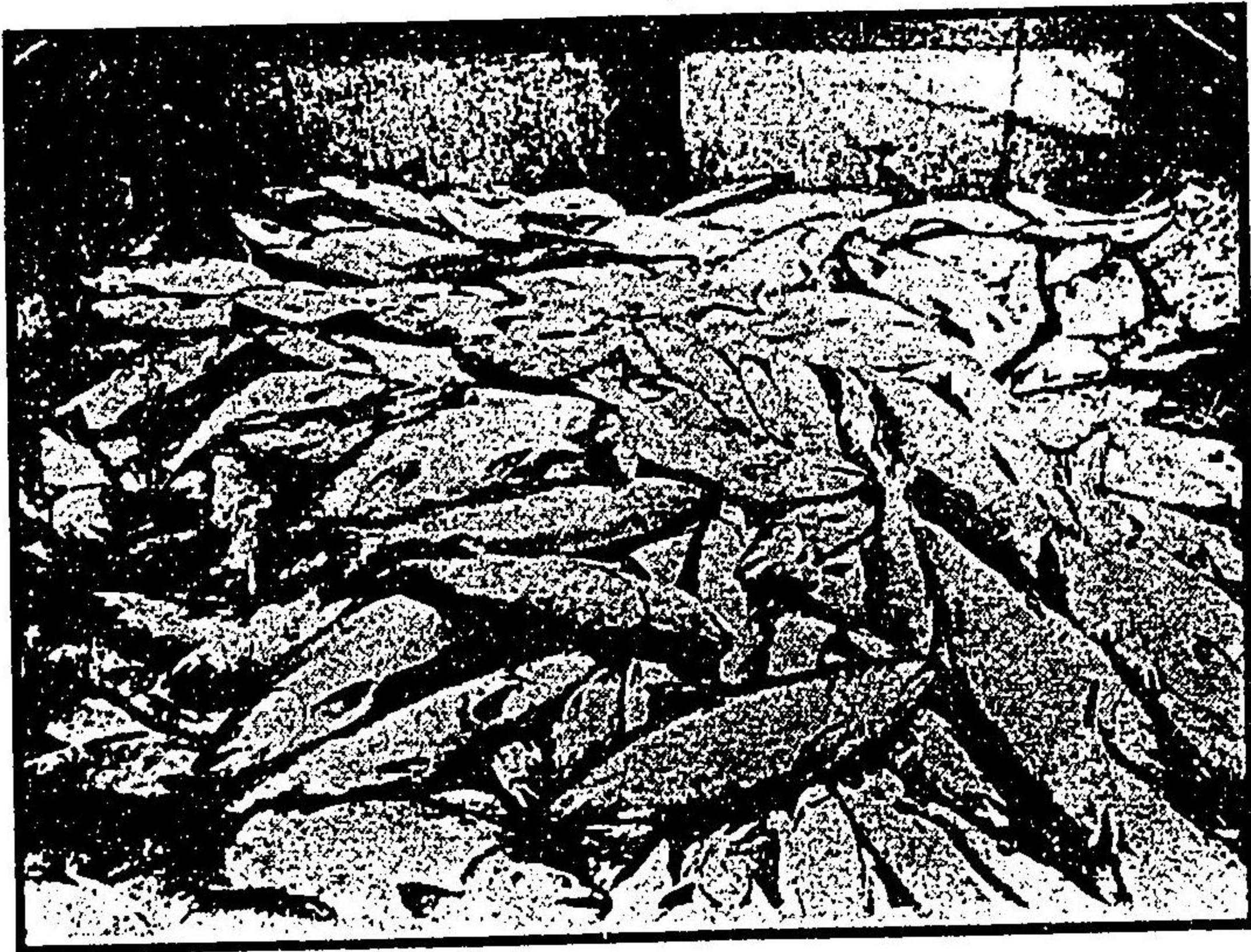
園 ス プ ツ ハ



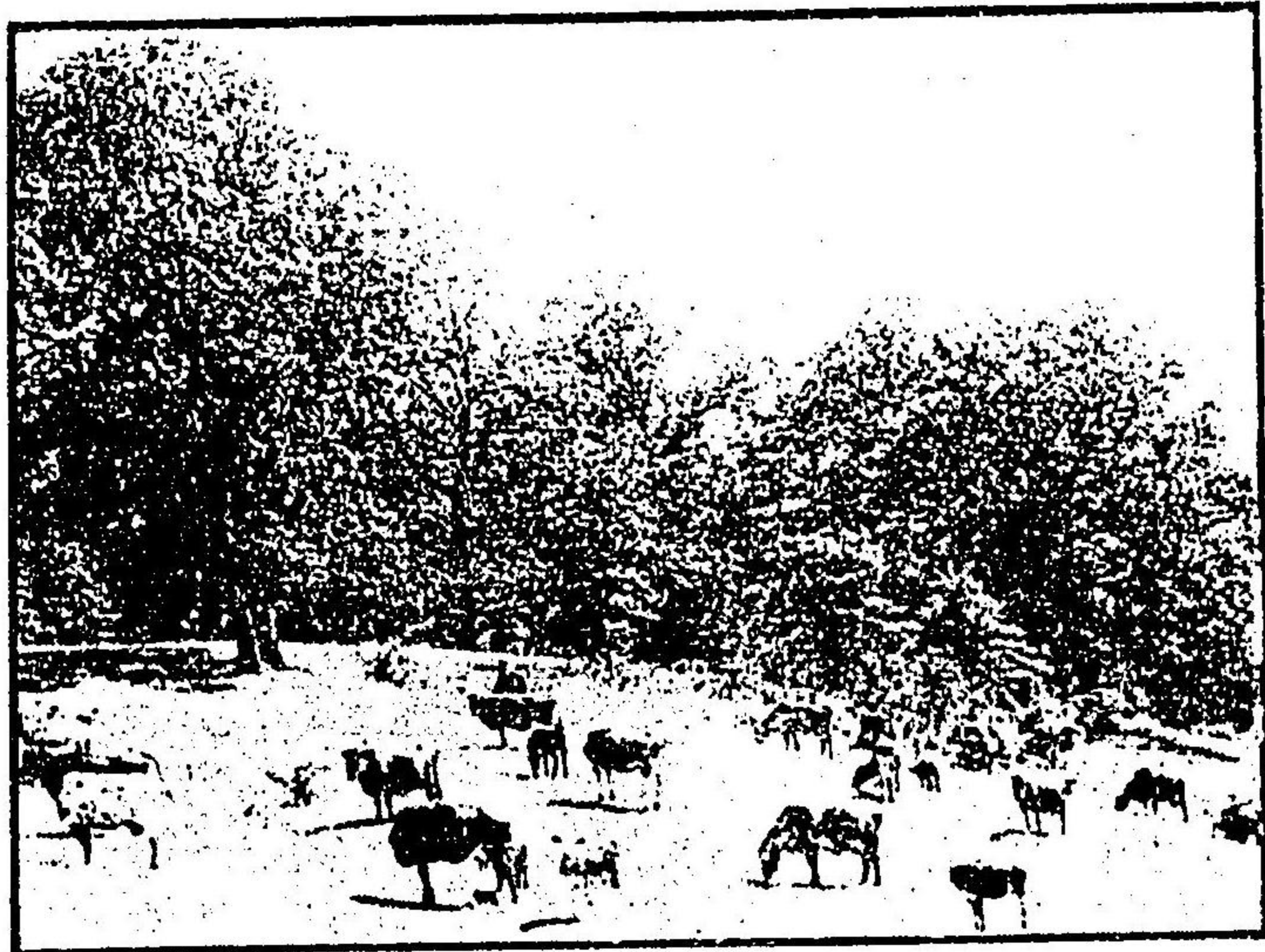
橋鐵の上河ヤビムロコ
(橋道鐵線復の長最界世)



漁鮭の河ヤビムロコ



飼牛牧場



麥粉運送の光景





央玲崑崙事情

第壹編

央玲崑崙州の富源

第一章 オレゴン州の地理

◎位地

左米同胞に向つてオレゴン州の位地を説くは殆んど無用の業たりと雖も、オレゴン州は沿岸三州中に於ても比較的未知の地たるを以て、本書の目的を全ふせんがために先づオレゴン州の位地を紹介すべし。

北米合州國の太平洋沿岸がワシントン、オレゴン及びカリフォルニアの三州より成り、オレゴン州はワシントン、カリフォルニア兩州の間に介在し、南はカリフォルニア及ネバダの二州に接し、東はアイダホ州に隣り、北はコロムビア河を以てワシントン州と堺し、西は太平洋に面す。

◎各州との交通

オレゴン州と近傍諸州との交通には第一に鐵道あり、第二に汽船あり。

一 鐵道

桑港及加州の地方よりするものは南太平洋鐵道により、沙港及タコマ地方西部ワシントンよりするものは北太平洋鐵道により、ユタ、ネバダ、ワイオミング、アイダホ諸州の地方よりするものはオレゴン、シヨルト、ラインと連續するオー、アール、イン線路により、モンタナ州よりするものは大北又は北太平洋鐵道によりてスポケーンに出で、スポケーン地方及東部ワシントンによりするものと全じくオー、アール、イン線若しくは北岸鐵道と稱するスポケーン、ポートルランド、シアトル鐵道によれば自らオレゴン州の大都會たるポートルランドに着すべし。ポートルランドは凡て此等諸大鐵道線路の終端集合點なり。

二 汽船

太平洋沿岸の北西部はオレゴン、ワシントン、アイダホの三州にモンタナ、ワイオミング二州の一部を加へてこれを太平洋岸北西部と稱し、コロムビア河は其の中間を流れ、スネーキ河を合せて西流し、オレゴン、ワシントン兩州の境界をなしてアストリヤに於て太平洋に注ぐ、而してポートルランドはコロムビア、ウキラメット二大河の合流點に位するを以て、沿岸諸州より來らんとするものゝためには又汽船の便あり、ポートルランドは太平洋沿岸に於ける唯一の淡水港にして、コロムビア、ウキラメットの二流によつて内地の各地

に汽船を往復せしむるのみならず、沿岸の諸港及東洋諸港との間に定期汽船を往復せしめ英、佛、獨等歐洲諸邦の船舶も又常に此處に輻輳す。

◎面積及人口

オレゴン州の陸地は面積九萬四千五百六十方哩（カリフォルニヤ州は十五萬三千六百五十方哩、ワシントン州は六萬九千八百八十方哩）にして、これに水面一千四百七十方哩を合すれば全面積十萬五千〇三十方哩にして、殆んど無盡の富源を藏すれども人口約六十萬に過ぎず（カリフォルニヤ州の人口は百九十萬、ワシントン州の人口は九十五萬）同じく合衆國の一州なりと雖も、國中最大の農業地と稱せらるゝ中西部のアイオワ州の如きは面積五萬五千四百七十五方哩にして二百二十三萬二千の人口を有し、カネクチカット州の如き東部の一州は面積僅かに四千八百四十五方哩にして九十八萬四千二百の人口を有するに比較するときは決して同日の談にあらざるなり。

◎『好機會の地』

それ此の如くオレゴン州は廣大なる面積と無盡藏の富源を有するにも係らず。人口未だ甚だ多からざるを以て事業經營の機會の夥しさと太平洋沿岸無比と稱せらるゝが故に世人がオレゴン州を呼んで『好機會の地』となすも又蓋し失當の言にあらざる也。さればオレゴン州の今日最も要求する所のものは此の無盡藏の富源を開發すべき移住者にして、或は勞力

を以て或は資本を投じて此の富源を開拓せんとする移住者はその國籍の何たるを問はず、その人種の如何を論ぜず歡迎して已まざる所以のものは、土地の廣大にして富源の豊かになると事業經營の機會の夥しさがためにして、太平洋沿岸三州中に於ても排日の聲の高からざる我がオレゴン州を以て第一となすも又蓋しこれがためなりとす。

◎地勢及地域

オレゴン州は施政上の便宜により三十三郡に區劃すと雖も、北より南に走る三大山脈あり西と北とに縱横する數條の河流あり、その間幾多の流域と平原とをなすを以て又天成の地勢によつてこれを區劃することを得。

山脈の大なるものはコロムビアの河口より起り太平洋沿岸に沿ふて南に走せ加州に入るものを海岸山脈と稱し、英領加奈太より起りワシントン、オレゴン兩州を北より南に縱斷するものをキヤスケード連山と稱し、ワシントン州の東南隅に起りオレゴン州の東北隅を劃するものをブリュエー山脈と稱す。

海岸山脈以西の地方は太平洋に面するを以てこれを沿海地方と稱し、この山脈とキヤスケード連山との間はウキラメット河の貫流する一大流域にしてこれをウキラメット流域と稱し、ポートランドは其最北端に位してウキラメット、コロムビア兩河の合流點に在りキヤスケード連山以東の地方は一大平原にして之を中部オレゴンと稱し、ブリュエー山脈以東の地

はこれを東部オレゴンと稱し、コロムビア河の瀧流する地方はこれをコロムビア流域と稱し、そのキヤスケード以東即ちオレゴン州の一部とワシントン州の一部とスネーク河畔のアイダホ州の一部とを合しこれを總稱してインランド、エムバイヤと云ひ、太平洋沿岸最大の穀作地なり、又ウキラメット流域の盡くる所州の南端に當り海岸山脈とキヤスケード連山とを連鎖する諸山脈一帯の地方を南部オレゴンと稱す。

此の如く天成の地勢を以てするときはオレゴン州は大約これを六大地域に區分することを得べく、而して各地域はその山河の形勢に従ひ多少風土氣候を異にし、従つてその産業の種類と發達の趨勢と事業經營の方針とを異にするものあるを以て先づその各地域の一斑を説明せざるべからず。

一 南部オレゴン

試に加州の一地方よりオレゴン行の南太平洋鐵道列車に乗ぜんか、瀛車はシヤスタの山麓を迂回しシスキュー連山の間を通過して加州よりオレゴン州に進入すれば、廣々としたる美麗なる流域の眼下に横はるものを見るべし、これなん南部オレゴン二大流域の一にしてローグリバー流域と稱し州内第三に位する大流域にして、点々たる市邑村落は美麗なる農作地及果樹園の圍繞せられローグ河及其の支流はこれが間を縫ふて瀧流し風光明媚にして自ら一個の別天地をなす。アシユランド、メッドフォールド、グランツバツス等の諸市を通

過しローグリバー連山を踰れば再び美麗なる河流瀧流する處これをアムブカ流域と稱し

ローズバブルグはこの地方に於ける最大の都會なり。

故に州の南端に位する南部オレゴンと稱する一地域は此等の豊饒なる二大流域を有し、風光明媚氣候溫和加ふるに地味豊沃にして生産力の大なる實に沿岸無比の稱あり、詩人オキーン、ミラー氏はこの地方を呼んで米國の伊太利と云へり。

二 ウキラメット流域

瀧車はアムブカ河に沿ふて北行しローズバブルグを出てオークランド、ドレーン等の市邑を通過すればウキラメット河の上流に出てレーン郡のユージンに達す。ユージンは州立大學校の在る所なり。ユージンより更に北行すればリン郡のオルバニーに達す、リン郡はウキラメット河を距て、ベントン郡と相對す、ベントン郡のホルバリスに州立農學校及農事試驗場ありオレゴン州農業教育の中心なり。オルバニーを出て、更に北行すればマリオン郡のセーラムに至るオレゴン州の首府にして州廳の在る所なり。セーラムより北すればクラカマス郡に入りオレゴン州最古の移住地たるオレゴンシチーを通過して遂に北西部の都會たるポートランドに達す。

ウキラメット流域は河の兩岸に開展するレーン、リン、ベントン、ボーク、マリオン、クラカマス、ヤムヒル、ワシントン、モルトノマの九郡を包括し南北百五十哩東西三十哩乃

至五十哩、東はキャスケード連山に境せられ西は海岸山脈に達し、ウキラメット河その中間を流れポートランド市の中央を貫流してコロムビア河に合す。其の間四百萬英町の沃土を包有しオレゴン州最大の流域にして太平洋沿岸に於ける天成の一大農園なり。

此の流域は雨量頗る多くボ市に於て四十九吋ユージンに於て四十吋に達するが故に、他の平原地方の如く人工に依り灌漑を掘鑿して灌漑する必要あることなし、氣候は全流域を通して溫和にして地味又甚だ豊沃なり。

ウキラメット流域はオレゴン州最古の移住地なるが故に交通機關尤も發達し、従つて人口も比較的多數なりと雖も面積大にして地味豊沃なるを以て、假りに一家に五十英町の土地を所有せしむるもなほ八萬の家族即ち今日の三倍以上の人口を住居せしむることを得べし「これを地質學者にさくにこの流域は大古は一大瀬戸内海をなし今日のワシントン州のピュゼットサウンドに類するものなりしが、東方にキャスケード連山隆起し海岸山脈又西方に起るに至つて海水はコロムビア河口より太平洋に排出せられ其後數百年間一大湖水をなしたりしが、湖水は再び變じて河流となり、こゝに一大流域を形成するに至りたるを以て遂に此の如き沃野を見るに至りたりと云ふ」

三 沿海地方

海岸山脈はコロムビアの河岸より起り蜿蜒として長蛇の如く南に走せて加州の境に達すこ

の山脈を背にして太平洋に面する一帯の地方を沿海地方と稱す。

沿海地方はオレゴン州中降雨最も多く氣候溫和にして濕氣に富み年中青草を絶つことなきを以て州内第一等の酪農地と稱せらる。

沿海地方は交通機關の發達未だ充分ならざるを以て人口多からず、その發達も又ウキラメツト流域の如くならずと雖も沿海にはコロムビヤ河口のアストリヤを始めネハレム、チラムーク、ヤクキナ、クース等の灣港少からざるを以てボ市より汽船の便あるのみならず、既に布設に着手しかる數條の鐵道完成してウキラメツト流域との交通開かるゝの日にはその發達も又決してウキラメツト流域に劣らざるものあるに至るや期して待つべきことなり

四 ●●●●●●●●●● コロムビヤ流域

ボ市を發する東行列車(オー、アール、イン)はコロムビヤ河の南岸に沿ふて東に走せフイドリバー、ダールス、アーリングトン等の諸邑を通過しユマチラに達すれば線路は北と東とに分れ、北するものはコロムビヤ河に沿ふてワシントン州に入りスポスケーンに達し、東するものはペンネルトンに至りブリユー山脈を横斷しラグラン、ペーカーン、ハチングトン等の諸市を通過しアイダホ州に入る。

キヤスケード連山以东コロムビヤ河の兩岸は北西部最大の流域にして其南岸即ちオレゴン州にあつてはフイドリバー、ワスコ、シエルマン、ギルマン、ユマチラ等の諸郡を包括す。

此の地方は河流頗る多く皆北流してコムビヤ河に注ぐ、その大なるものはフイドリバー、デシユーツ、ジョンデイ等にして皆共に豊饒なる流域をなす。

◎●●●●●●●●● フイトリバーの流域

フイトリバーの流域はコロムビヤ南岸三流域中最もボ市に近きものにしてボ市を距ること僅かに六十七哩に過ぎず。三流域中の最小なるものなりと雖もその名産物たる苹果と莓とを以て名聲世界に高し、延長二十三哩巾員五哩の小流域なりと雖も開墾せられたるものは未だ僅かにその六分の一に過ぎず。

◎●●●●●●●●● デシユーツ流域及中部オレゴン

デシユーツ流域はデシユーツ河及支流に沿ふ一帯の地域にして三流域より成る、デシユーツ河は源を南部オレゴンのクラマス郡に發し北流してクルーク郡を通過しワスコ、シエルマン二郡の間を流れコロムビヤ河に注ぐ、その上流の地方は一体に中部オレゴンと稱し州内最も未開の地なりと雖も、灌漑事業の發達と共に豊饒なる沃野と化するの希望滿々たるものあり、その最も上流の流域は延長三十哩巾員十哩、中央の流域は延長三十哩巾員四十哩にしてエジエンシイ平原と稱する下流の地方は延長二十五哩巾員七哩なり。

◎●●●●●●●●● ジョンデイの流域

ジョン郡デイ河はシエルマン、ギリアム、ワスコ、ホキラー、グランの諸郡を環流しシ

エルマン、ギリアムの兩郡を界してコロムビア河に注ぐ、牧畜と穀作とを以て景も有名な
り、流域は延長して百哩巾員二三哩の長流域をなす。

ジョンデイ河を渡りて更に東すれば後にブリユー山脈を背ひ前はコロムビアの流に臨む一
帯の平原なり、これ即ちギリアム、モイロー、ユマチラの三郡にして洪漠たる原野をなし
一見不毛の地の如しと雖も灌漑の方法を得るときは一變して綠樹青草の沃野と化す、オレ
ゴンの如きはその實例なり、ペンネルトンを最大の都會となす。

五 東部オレゴン

瀛車ペンネルトンを發して更に東に進行すれば麥瓏秀々たる沃野を後にし、インヂャン保
護地を横切り樹木蒼蔚たる山林の間に入る、これ即ちブリユー山脈にしてこの山脈を通過
すれば千里の沃野の眼下に横はるを見るべし、東部オレゴンは即ちこの沃野なり、ユニオ
ン、ワローワ、ベーカーの諸郡を包有し、ラグランズ、ベーカー、シチイ等を尤も繁華の都
會となす。

若しそれ州の東南部(六)に位するメーラー、ハーネー、レーク諸郡の地方に至つては交通
の便を欠ぐが故に一望洪漠たる大原野にして未だ記すべきの開拓を見ずと雖も牧畜を以て
主産となし、その産するダラム牛の如きは加州の市場に於て好評噴々たるものあり。

◎地味及氣候

それ移住者の發展に必須の關係ある處のものは移住地の地味及氣候なり、地味肥沃ならざ
れば殖産興業の望なく、又地味如何に肥沃なるも氣候農耕に適せずんば産業得て擧ぐるべ
からず、而して氣候一部が農耕に適するも人身の健康に適せざれば永く此處に住居するこ
と能はず、この故に移住者の發展の最大要素は地味の肥沃なると氣候の善良なるとに在り
と云ふも不可なりとせず。

南部オレゴンは山嶽起伏し溪流縱横するを以て土壤の種類多しと雖も、概して粘土質の土
地多く、ウキラメット流域には砂土質の土地あり、粘土質の土地あり、腐植質の土地あり
地味最も肥沃にして農耕に適し、キャスケード連山以東の地即ち中部オレゴンの北部及び
東部オレゴン地方は火山灰質の原野多く土地乾燥して不毛の光景を呈する地と雖も灌漑の
法を設けて給水するときは一變して豊饒なる沃野と化す。

オレゴン州の氣候は山脈の位地と土地の高低とによつて異なり、降雨も又其の地域によつ
て同じからず、今これを表を以て示せば大略次の如し。

●南部オレゴン

海拔 五百呎乃至一千九百呎

雨量 三十五吋乃至二十吋

溫度

極寒 二十二度乃至十四度

酷暑 九十八度乃至百〇五度

平均 五十三度

●ウキラメット流域

海拔 五十四呎乃至四百三十五呎

雨量 四十吋乃至四十六吋

溫度

極寒 十八度乃至十九度

酷暑 九十五度乃至九十八度

平均 五十三度

●沿海地方

海拔 五十呎乃至七十二呎

溫度

極寒 二十四度乃至二十六度

酷暑 八十四度乃至八十八度

平均 五十二度

●コロムビア流域

海拔 百十二呎乃至一千八百呎

雨量 四十五吋乃至四十吋

溫度

極寒 零度以下七度乃至六度

酷暑 百度乃至百六度

平均 五十三度

●東部オレゴン及高原地方

海拔 三千呎乃至四千四百呎

雨量 八吋乃至十五吋

溫度

極寒 零度以下三度乃至同じく十二度

酷暑 百度乃至九十五度

平均 四十六度

毎年十一月より翌年三月下旬までを一般に降雨期と稱すれども日夜降雨絶間なしとの謂に
あらず、又降雨期以外の時季と雖も春と秋とは時々驟雨を見ることあり、されば地域に
よつては全然人工的灌漑の必要を見ざるのみならず、高原地方と雖も雨量の少なさがため
に旱魃の憂あることなし。

◎灌漑

キヤスケード連山以西の地即ち西部オレゴンに於ては氣候温和にして降雨の量多きを以て
概して人工的灌漑の要を見ずと雖も、連山以東の地方は所謂高原地方なるを以て人工的灌
漑の方法を設けて給水の便宜を得るに於ては、今日荒廢に委する數百萬英町の土地を變じ
て豊饒なる沃野となさしむることを得べきを以て、デシユーツ流域に於てはこれを民業と
して數個の灌漑會社を起し、合衆國政府も亦ユマチラ及クラマスの二大灌漑工事を起し、
前者は二萬英町の土地を灌漑し後者は十九萬英町の大地域に給水の便宜を與へんとしつゝ、
あり、されば灌漑事業の發達と共に今日荒廢に委する幾百萬英町の土地の農作地と變ずる
に至るを見るのみならず、又今日人工的灌漑に依らざる地方と雖もこの方法を採用するに
至る曉には、其の生産力を數倍するに至るは明かなることたるを以て、オレゴン州民は合
衆國政府と力を併せて此の事業の發達を計りつゝあり。

◎運輸

オレゴン州の運輸は陸と水とに依りポートランドを以て其の中心となす。故にポートラン
ドはオレゴン州及附近地方の商業の中心にして又これが分配の中心なり。
南太平洋鐵道はシスキュー山脈を踰えて加州より來り南部オレゴン及ウキラメット流域を
貫通してポートランドに達し、オー、アール、イン線路は州の東境に始まり、東部オレゴン
を通しブリュー山脈を踰えてコロムビア河畔に出て、ズボケーンより出て、インランド

エムバイヤの沃野を通ずる支線と合し、コロムビヤ河の南岸に沿ふて下りポートランドに達す。この線路はアイダホ州に入りオレゴンシヨルトライン線路及ユニオンパシフィックに連續して東部に達す。北岸鐵道と稱するスポケーン、ポートランド、シアトル鐵道はスポケーンに起りインランド、エムバイヤの沃野を通じてコロムビヤ河に出て、其の北岸に沿ふて下りコロムビヤ及ウキラメットの二大流に鐵橋を架してポートランドに達す。この線路は北太平洋及大北兩鐵道會社の共有線にして東部及南部ワシントンとポートランドとを連結する所のものなり。北太平洋鐵道はコロムビヤ河を踰へてポートランドに達しタコマ及シアトルに連結せしめ、更に大北鐵道に連續して英領コロムビヤのバンクーバーに達す。加奈陀太平洋鐵道はオー、アール、イン及北太平洋の二線路によつてポートランドに達し、シカゴ、ミルウオキイ、セントポール鐵道もアイダホ州よりオー、アール、イン線に連續してポートランドに達しポートランドを以て其の終點地となさんとす。

ポートランドはそれ此の如く大陸横斷の諸大鐵道線路の集合點たるのみならず、地方運輸の便を供するものはコロムビヤ河口のアストリヤ及附近の沿海地方よりはアストリヤ及コロムビヤリバー鐵道コロムビヤ河の南岸に布設せられてポートランドに達し、ウキラメット流域に於ては河の兩岸に南太平洋鐵道は數條の支線を布設してポートランドと流域の市邑とを連結せしめ、其の他中部オレゴン鐵道の如きチラモーク、ヤクキナ、クリース等沿海

の港灣に達する新線路の如き凡てポートランドを中心として此に輻輳し來る。

特に近年運輸機關發達の新現象とも云ふべきは電車鐵道の布設にして、ポートランド電鐵會社はポートランドより東方の地方に向つて線路を延長せしめ、ユナイテッド電鐵會社は北方及西方に向つて線路を布設し、オレゴン電鐵會社は南方ウキラメット流域に於て遠くユージンに至るまで其の線路を延長せしめんとす、されば地方に於ける陸上運輸の機關はポートランドを中心として四通八達殆んど蛛網の觀を呈するに至らんとす。

ポートランドはコロムビヤ及ウキラメット二大河の合流點に位するを以て又水路交通の中心たり。ウキラメット河はポートランドを溯ること五十哩の間に汽船を往復せしめ、コロムビヤ河下流には河口のアストリヤに汽船を往復せしむるのみならず、沿海及東洋の諸港に定期汽船を往復せしめ萬國の船舶又河口より溯りてボ市に輻輳す、上流はダールスに至る百哩の間に汽船を往復せしむれども、目下合衆國政府の工事中なるセライロ運河の落成する曉にはアイダホ州のルキストーンに至るまで一千數百哩の間に汽船を通ずることを得べく、今日五千萬ブシユルの小麥を産出するインランドエムバイヤは二條の鐵道線路に加へて水路に依つてポートランドと連絡せしめらるゝに至るべし。

第二章 オレゴン州の産業

オレゴン州の富源は多く未開に屬すが故に現在に於ては生産額未だ甚しく大ならずと雖も

其の産業は頗る多種なるが故に事業經營の機會夥しきのみならず、移住者のためには産業上最も安全にして又最も成功を期し易き土地なりとす。今最近の統計に依つてオレゴン州に於ける産業の種類と生産額の一斑を左に示すべし。

◎山林及木材

山林はオレゴン州富源の隨一に位するものにして、合衆國の山林の六分一即ち三千億呎の木材を包有し、百年乃至三百五十年更に古きは五百年に達したる老木にして、彼のオレゴン松と稱する縦樹の如き亭々として中天に聳へ蔚々として群列するオレゴン山林の光景は實に天然の偉觀なりと云はざるべからず、これを建築用材として其の價値特に大なるものあるを以て地方の需要大なるものあるのみならず、盛に歐州及東洋諸國に輸出せらる、即ち一千九百七七年に於ける産出額は二十億呎にして其の價額は三千萬弗なり。

◎鑛山及鑛業

オレゴン州は鑛業を以て世に知られずと雖も州内には二千七百七十個の鑛山あり、金及銅を以て鑛産物の最なるものとなす、又グランド郡のコッハート鑛山の如きは合衆國中唯一なりと稱せらる、鑛山は東部オレゴンのペーカー郡及南部オレゴンの諸郡に於て最も多し、一千九百六年の産出額は二百六十四萬弗以上なり。

◎水産及漁業

オレゴン州の水産は鮭魚を以て其の最なるものとなし、コロムビア河の鮭は品質好良なるを以て名聲噴々たり。一千九百七年の統計によればコロムビア河のオレゴン州岸と沿海及諸流とに於ける鮭の産出高は三十三萬七千磅にして三百十萬弗を價せり。鮭の外に水産の主なるものは比目魚、鮫、鯨其他の魚類にして百五十二萬二千磅を産出し、其他牡蠣、蟹、サリガニ其他の貝類の産出は八十四萬二千磅以上に達せり、又罐詰魚類の産出額は三百三十一萬九千弗なり。

◎畜類及牧畜業

オレゴン州は其の地域の何れたるを問はず牧畜業に適し牛、馬、羊、豕、等盛に生育す、一千九百七年の統計によれば牧畜業の概況は左の如し。

牛	九八八、六九五頭	二四、七一七、三七五
馬	二九六、三三二	二九、六三五、二〇〇
騾馬(ミュール)	七、四三〇	七四三、〇〇〇
羊	三、六〇〇、〇〇〇	一四、〇〇〇、〇〇〇
山羊	一六二、五〇〇	六六〇、〇〇〇
豕	三〇九、九三九	二、四七九、五二二

總額七千二百六十三萬五千〇八十七弗なりとす。

▲農産物及農業

オレゴン州の農産物中最も重きをなすものは穀物にして、野菜及果實これに次ぐと雖も、農業の趨勢より察するときは後者の産額も遠からずして穀物に譲らざるに至るべく、灌漑事業の發達と共に遂にはこれを凌駕するに至るも測るべからず。最近の統計により農産物の概況を示せば左の如し。

一穀類	小麥	一八、五〇〇、〇〇〇	一五、三五五、〇〇〇
	大麥	二、〇四七、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇
	燕麥	九、七六五、〇〇〇	四、三九四、〇〇〇
	玉蜀黍	四〇〇、〇〇〇	
	秣草	九五〇、〇〇〇	八、八〇〇、〇〇〇
二酪農			
製品産額			
一千九百〇八年には			
に増加せり			
三家禽			
四羊毛			
			一五、〇〇〇、〇〇〇
			一七、二〇〇、〇〇〇
			三、四九〇、〇〇〇
			三、六〇〇、〇〇〇

五獸皮	一、七三七、九〇〇	五三六、〇〇〇
六蜂蜜		
七ハツプス	一三〇、〇〇〇	一、九二四、〇〇〇
八野菜		
砂糖大根	二二二、〇〇〇	九九、〇〇〇
馬鈴薯	五、〇〇四、〇〇〇	三、三六〇、〇〇〇
近年玉葱の産出夥しく増加したれども統計を欠ぐ		
九果物		
苹果	一、〇八二、二〇〇	一、四二三、八〇〇
アプリカット	一一、〇〇〇	八、〇〇〇
莓類	一五、六〇〇、〇〇〇	六〇二、〇〇〇
葡萄	三、九四五、〇〇〇	一二四、五〇〇
桃	四四五、八〇〇	二四八、二〇〇
梨子	二四七、六〇〇	二八六、〇〇〇
ブルム	五、一二〇、〇〇〇	九五、〇〇〇
ブルーイン	二五、四五四、〇〇〇	一二、〇九八、九二五

扁桃 近年著しく産出を増加したれども統計を欠く

罐詰果物の産出額は 八九六、三五〇

農産物の産出額は未だ甚だ大ならずと雖も、氣候溫和にして地味豊沃農作に適する土地にして未開に屬するもの多きを以てその、一たび開墾せらるゝに至つては産額の著しく増加するに至るは疑ふべからざることなり。

◎製造業

製造業に於てはオレゴン州は未だ決して進歩したるものと云ふべからずと雖も、近年交通機關の發達と共に原料品の供給と製造品の販路宜しきを得るに至つて年々急速なる進歩を示し、特に製材、製粉、製肉、及諸般の罐詰業の如きは、原料豊富なるを以て近來著しき進歩を見るに至れり。

製造樂の主なるものは製材、製粉、製肉、製紙、罐詰類、牛酪及乾酪、毛織物等にして茲に最近の統計を擧ぐる能はずと雖も、一千九百〇四年の合衆國年鑑によれば、オレゴン州には製造所の數一千六百一ヶ所あり、合計資本金四千三百九十九万九千五百弗にして職工の數一万八千五百六十八人、原料品の價は三千四十六万三千弗、製造品の價格は五千五百三十九万弗と記しあれどもオレゴン州の發達はルキス、クラーク大博覽會の開設以後即ち一千九百〇五年以後に於て最も著しきを以て、今日に於ては製造業の發達も他の産業の發

達と同じく決して往日の比にあらざるなり、現にボ市の下流に起工せられたるスウキフト製肉所の如きモナーク製材所の如きは其の規模の宏大なる沿岸無比を以て稱せらるゝのみならず、その他クリースベイ地方に設立せられたる製材所、チラモーク地方に設立せられたる製酪所の如きはその近年に於ける進歩發達の好適例なりとす。

◎商業及貿易

オレゴン州商業の中心たるポートランドは四通八達水陸運輸の便に富むを以て、獨りオレゴン及附近地方の商業の中心たるのみならず、又實に沿岸及海外貿易の要港なり。ポートランドと共にオレゴン州の貿易港としてはアストリヤ及クリースベイの二港あり、最近の統計によればこの三港の貿易は概略左の如し。

一、輸出貿易

ポートランド

一六、〇四七、〇九七

アストリヤ

五七、一五七

クリースベイ

二四、〇三二

二、輸入貿易

一千九百〇五年の統計は左の如し

二、六三七、九七九

第三章 オレゴン州の教育及宗教

永住の目的を以て來る所謂ホームセーカーと稱する移住者は一擲千金の利を占めんとする投機的の人間にあらずして、家族あるものは此處に家族をも移さんとし、獨身なる者は此處に事業を起して家庭をつくらんと志す者なるが故に、その注目する處は産業のみに止らず教育及宗教の情態、人情、風俗等に注意するは自然の事にして、されば此に一章を設けてオレゴン州に於ける教育及宗教の情態の一斑を記するも亦決して無益の業にあらざるべし。普通教育に於ては殆んど間然する處なく、寒村避地と雖も學校の設けあらざる地なく今日移住者を獎勵する地方の農作地に於ては近くは一哩以内遠きも三哩以内に必ず校舎の在立を見ざるはなし、又宗教に於ても基督教の各派は大小を問はず、猶太教及東洋の宗教も會堂を設立し學校を開く等その活動頗る見るべきものあり、特に歐洲の移住者は傳道者教師の指導によつて宏大なる土地を購入し、殖民的方法によつて移住者の發展を經營するもの少からず。

若しそれ高等教育の機關としては在ユージインの州立大學をはじめとし高等の學府少からず、元よりオレゴン州に於ては州民一般に富裕にして、資産あるものは子弟を加州及東部の諸大學校に遊學せしむるを習慣となしたるが故に、地方の大學校はその進歩稍遅々たる觀なきにあらざりしと雖、近來に至つて其の習慣を改むると同時に教育の傾向を一變するに至りたるを以て州立大學校を始め私立の高等學校も亦駸々乎として進歩するに至れり。州立大學はポートランドを南に去る百二十五哩ウキラメット河上のユージインに在り、文科、理科及工科の部門に分れ、又法科及醫科はこれをポートランド市に設く、生徒總數七百九十名オレゴン州に於ける最高の學府なり、高等學校卒業生及相當の學力あるものは入學を許し、授業は無料にして學生團體の費用及試験室の材料等に少額の費用を要するのみ但し法科は一學年六十弗醫科は百五十弗の授業料を収めざるべからず、又ユージインにては下宿料は一週約三弗五十仙位より五弗にして寄宿舎に入れば一週僅かに三弗を要するに過ぎざるを以て、一學年の學費は二百五十弗内外にて足るべし、他の私立大學校もこれと大差なし。

州立大學に次いで有名なるは在コルバリスの州立農學校にして生徒總數六百名敷地二百七十五英町を有し、北西部地方に於ける農業教育の中心たり、文學、化學、商業、果樹園業、農業、工業、園藝、酪農、牧畜等を教授し、實際的の青年男女を養成するを以て此校の目的とす。

其他教會に屬するものにはセーラムにウキラメット大學校あり、文科、法科、醫科、神學科の分科を設けオレゴン州に於ける最古の高等學府なりと稱す、フォレストグローブにバ

シフキック大學校あり、マクミンピルにマクミンピルカーレッジあり、ポートランドに北太平洋齒科醫學及藥劑學校あり、その他カーレッジ、アカデミー等にして有名なるものポートランド及附近の都邑に少からず。

然れども法科、醫科及齒科等職業的の學校を除いては、オレゴン州に於ける高等教育の機關は未だ最高學府と見做すべき發達に至らざるを以て、所謂第二流の學校と見做さるべからずと雖も、東部の有名なる大學校に入るの準備をなさんとするには、その程度よりするもはた又その費用の點よりするも極めて便利のものたるは疑ふべからざる也。

愛蘭人及南歐移民多數を占むる處に於ては羅馬舊教の勢力尤も盛んにして、オレゴン州に於ても同教會の勢力決して侮るべからざるものありと雖も、新教派の勢力は沿岸三州に於てオレゴン州を以て最大なりとするを見れば、オレゴン州に於ける移住者は中西部及新英州地方の農業者を以て先驅となし、従つて人情風俗の濃厚にして善良なる所以も又解し難きにあらざる也、沿岸三州の中に於てもオレゴン州民は外國人に對して尤も公平なる意見と篤實なる友情とを有するは事實にして、従つて排日の聲を聞くことも又疎なりとす、されば少くとも今日に於てはオレゴン州民は太平洋沿岸に於て最も健全なる米國人の思想及感情を代表するものと見做すも決して失當にあらざるべし。

第四章 産業地としてのオレゴン州

◎富源の無盡藏

オレゴン州に於ける最初の移住者は東部諸州より來れる農夫なりき、オレゴン州の發達は農業を以て始れり、今日と雖も農業は産業の最大部分を占め、而して其の年々の發達は土地の豊饒にして且つ廣大なるを示し、農業上富源の實に無盡藏なることを證するに足る。蓋しオレゴン州民の三分の一は或る種類の農業に従事し、而してその數は年々數萬の新來者即ち東部より來る農業者及諸外國よりの移住民によりて増加すれども、土地大にして肥沃なるが故に移住者にして勤勉にして事業に精勵せば決して空しく失望するが如きことあらざる也。

◎農事教育の中心

オレゴン州の農業は元より他州のそれと其の趣を異にし、又オレゴン州中に於ても西部は東部と異なるが如く地域毎に多少その事情を異にすれども、州は此等の事情につき新來者のために特別なる方法を設けてその便利を計り、各地の實業團體はその地々の事情に關する確實なる報告を以てこれが參考に供し、又在コルバリスの農科大學は喜んで新來者が種々の質問に應ずべく、同大學校附屬の試験場はひとり農業者の使用に供せらるゝのみな

らず、一般州民も無料にて之を用ゐ得べく農事に關する一切の必要なる報告書類は凡て之を大學校にて求め得べし、州立農科大學は實にオレゴン州に於ける農事教育の中心也。

◎農業の趨勢—小規模の農業

オレゴン州の農業は穀類及牧畜にのみ限ると思ふべからず、過去に於ける状態にては大仕掛の農業にあらざれば實際の利益なきが如くなりしと雖も、運輸の道開け人口益々増加すると共に各自の専門とする所に従ひ小規模の農業に従事して充分の利益を得べきは必然の事にして、現にウキラメット流域の如きは近年人口の増加夥しく従つて各種専門の農業者を待つや切なり、而して農産物の多種なるに至つてはオレゴン州の如きは蓋し國中稀れに見る處、若し各種専門の農業者にして精勵業に従はゞ其の利益する所は決して他州の比にあらざるべし。これを要するにウキラメット流域の如き人口の増加夥しき地方に於ては、農業の趨勢年と共に變し所謂大農的の農業より小規模の農業に移りつゝあり。

以上はオレゴン州農業の概論たるに過ぎざれば、これより少しく各種の農業に立ち入りてその一斑を略述する所あらんとす。

◎オレゴン州の穀作

▲コロムビア流域の麥作　オレゴン州に於てもコロムビア流域はワシントン州の東部及コロムビアの支流たるスネーク河畔のアイダホ州の一部とを合してこれをインランドエムバ

イヤと稱し世界に有名なる小麥の産地にして、一千九百七年の産出高の莫大なりしは實に全世界の需用に應じ得べかりし程なりき、ウキラメット流域も從來夥しく小麥を産出したりしかど、近年人口次第に増加するに至りたれば耕作地は専ら他の利益ある農業に用ゐられ、小麥の産出は勢ひ年々他の地方に限らるゝに至れり。

▲産出力の大　合衆國農務省の報告によれば全國の小麥の平均産出力は一英町に付一四、四ブシユルなりと雖も、インランドエムバイヤの産出力は平均一英町につき二一、二ブシユルにして、中には一英町より三〇ブシユル以上の収穫をなしたるもあり、又以て地方の如何に麥作に適するかを知るに難からざるべし。

▲米國一等の良質　ひとり産出力の大なるのみならず、品質も亦合衆國中第一等に位し、世間の所謂一等麥と稱するものにも勝りて貫目あり。他地方にありては一ブシユルにつき五十八磅の麥を得れば豊作なりとて喜ぶもオレゴン産の小麥は一ブシユルにつき五十九磅乃至六十五磅の貫目あるを普通なりとす。

▲一農夫の實驗　特にオレゴン州には凶作と云ふことなく、ユマチラ郡の一農夫が實驗によれば、過去三十二年間一英町につき四十ブシユル以下の収穫をなしたることなく、六十ブシユル迄上げれることも數々なりと、これを三十年間耕作を繼續し得れば稀有の沃土と稱せらるゝ東部及中西部の土地と比較する時は、決して同日の談にあらざるのみならず、

又以てオレゴン州には凶作なしとの農家が言の決して虚言にあらざるを證するに足る。

▲小麥の種類 小麥の種類に種々ありと雖も撰擇は降雨の量によつて異なれり、二十吋以上の降雨ある處にてはリットルクラブをつくり十五吋乃至二十吋の處にはレッドチャフ最も適し、十五吋以下の處にては其の種類一定せず、グラント、レッドロシアン、キャナデアン、ハイブリッド、ゼネセー、ソノラ等をつくる也。

▲種蒔と成熟 小麥は秋降雨期の至る頃これを蒔き明春降雨の止む頃に至つて成熟す、降雨二十吋に達する時は一英町に四十ブシユルの收穫あるは普通の事にて屢々五十、六十ブシユルにさへ達するとあり、又春麥は一英町に付二十乃至三十ブシユルの收穫ありとす。

▲費用は少し オレゴン州に於ける麥作の費用は國中何れの州よりも少く北ダコタ州にては豊作即ち一英町につき三十五ブシユルを得んとすれば費用七弗五十仙を要すれども、オレゴン州にては六弗内外にて足るべし又ひとり費用の點のみならず作物を販賣して得る利益を比するときはオレゴン州にては遙かに割善き利益を得る也。特に近年豊作打續くが故に農業者は概して富裕に趣き、十四五年前には銀行家に泣きつき資本を借入る有様なりしが今日は却つて銀行家に貸與する有様なり。

▲「麥をつくれれば金が成る」 オレゴン州の農業者にして麥をつくりて富裕になりたるもの數甚だ多く、ユマチラ郡のみの一年の産出高は五十万ブシユルにして所得純益は二十万

弗、之を同郡の農業者一千余人に分配する時は一人の純益は凡そ一万八千弗なりとす。

●ユマチラ郡にジョン、ハツデマンなるものあり、獨逸より移住し來り元より多人數の家族と所帶道具の外にはこれと云ふ財産もなき素寒貧なりしが、九年目に歸省したる折には麥作にてもうけたるものなりとて三万弗を携帶し行けり、又今日二十万弗の資産ありと稱する豪農ヘンリー、ケーブクは十年前には一文なしの貧乏獨逸人なりき、又ルキス、ケーブクが四年間に一万五千弗の富をつくれるも皆麥作によりて得たる者也とす。

▲小麥のみにあらず 燕麥も又利益頗る大にして近來此麥をつくるもの次第に増加し、一千九百〇七年の産出高は九百七十六万五千ブシユルに達せり、其の他大麥、黑麥等の收穫も近年に至つて著しく増加せり。

産出高及價格は統計を参照すべし。

◎オレゴン州の牧畜

▲天然の牧畜地 オレゴン州は天然の牧畜地にして、オレゴン産の畜類が市場に聲價高き所以の者は決して偶然にあらざる也、過去數年間に於ける牧畜業の進歩は實に著しきものにして、其の結果數年前米國の牧畜業者は大會をポートランド市に開き、數千の代表者全國より來集し中には州内の牧畜業地方を視察したる者も少からざりき、彼等は皆異口同音にオレゴン州は氣候風土眞に天然の牧畜地なりと稱して己まざりしが、近年に及んてはス

ウキフト製肉會社は主として一大製肉所をポートランド市の郊外に設立し、其他の製肉會社も又ポートランド市を以て北西部地方に於ける買出しの中心とするに至りたる等、斯業の發達を誘導するもの續々として起るに至れり。

●スウキフト製肉會社はポートランド市の北郊コロムビヤ河に沿ふて三千百英町の土地を購入し、數棟の大製肉所を設立せんとして目下建築中なり、同製肉所一日の製造高は豕二千頭牛一千五百頭羊三千頭に於て三千の職工を役務する大規模なり。

▲牧野千里 西部オレゴンに於ては人口次第に増加し、菜園及果樹園年と共に増加するを以て廣莫たる大牧畜地を見るべからずと雖も、東部オレゴンに於ては青草波打つ茫々たる牧野千里に亘り、年々産出する數百万頭の畜類は多くこれ自殖のものにして、これに加ふるに家養のもの數万頭あり、特に現今は苜蓿等の牧草盛んに繁茂し又刈取りたる麥の殘株を飼料とするを以て、西部オレゴン地方に於ても盛んに小規模の牧畜をなすに至れり。

▲刈入後の麥畑 刈取りたる麥の殘株を畜類の飼料とする方法は實に珍奇と云ふの外なく而も飼料として滋養分に富むが故に此處に産する畜類の肉は軟かなれどもしまりあり、自ら一種の佳香を帶ぶとは牧畜業者間の定評なれば、近來は農業者も又多くの羊豕を此處に飼養して年々巨額の利益をば割合に容易く得るに至れり。

▲畜類の需要は甚だ大なり スウキフト製肉會社員の言によれば「地方の産出はまた以て同會社の需要に應ずるに足らず、現に昨年の如きもオレゴン、ワシントン、アイダホ三州の産出は僅かに需要の三割を供給したるに過ぎざるを以て、我等はネブラスカ地方より七割を輸入せざるの已むを得ざるに至れり」又以てその需要の大なる一斑を知るに足らんか現今シカゴ、オマハ、カンサスシチー、セントジョセフ、セントルキス等の製肉所に供給して受くるアイオワ、イリノイス、ネブラスカ、カンサス、ミズウラ、ミネソタ諸州の農業者が牧畜上の利益の如何に大なるかを知るものは、又オレゴン州に於ける牧畜業の如何に有望なるかを知るに難からざるべし。

▲牧畜業の進歩 牧畜業の進歩は自ら種類の撰擇に一層注意するに至らしめ、數年來牛馬羊豕凡て高等なるものを輸入して種類の改良にとめたる結果、オレゴン産の畜類は各所の牧畜品評會に於て優等賞を受くるに至りたると同時に、その飼養の方法に於ても全然その面目を一新するに至れり、従來は曠野牧畜を主としたるが故に牧畜地の大なるに比して産出高少なかりしと雖も、近來は牧場を設け株草をつくりて畜類を飼養する方法を採用するが故に大にその産出高を増加するに至れり。

▲國中第一の羊產地 オレゴン州は國中第一の羊產地なり、年々これがために投ずる資本は數百万弗の巨額にして、その収益も又實に大なりとす。東部オレゴンに於ては夏季はキ

ヤスケード連山及びブリュマウンテン山中にて野飼し、春及秋冬の三季は牧草波立つ河畔の叢中及越年草牧場に於て飼養す、春は早くして暖かなれば羊仔の繁殖實に夥しく平均九割以上生育すること請合なり、西部オレゴンに於ても五十頭乃至三百頭の羊群を有するものなきにあらざると雖も、農業者は概して他の農業に従事するを以て所謂牧羊地なるものを見ず、然れども東部オレゴン地方に在りては牧羊に従事して富裕の身となれるもの頗る多く初めは僅かに月四十弗の給金にて雇はれたるものにして數年を出てずして數千頭の羊を所有するものとなれるものも少からずとす。

▲羊毛 　オレゴン州の羊毛の産出高は凡そ二千万磅にして、品質好良にして遙かに他州産のものに優り濠洲産の羊毛に酷似し、且つ四季氣候の變化甚しからざるが故に結塊を生ずるの恐あることなきを以て市場の好評嘖々として需要甚だ大なり。

▲羊の種類 　東部及東南部地方に於ては専らメリー種の羊を牧養す、種類撰擇の問題に關しては牧羊者間の意見異なれりと雖も、メリー種の好良なることは一般の承認する所なり、その他長毛種及短毛種數種あり。

▲山羊 　アンゴラ山羊も又頗る収益あるオレゴン産の畜類にして山羊毛は至る所に賣口宜しく、専門家の言ふ處によればオレゴン産の山羊毛はこれを他州産のものに比すれば繊緯長く品質も亦遙かに好良なりとす、良き牝山羊は一頭四弗乃至六弗にして牡山羊は十五弗

乃至百弗を價することあり、百六十英町の土地を所有する農業者にして六十英町の荒地あらば、二十五頭乃至五十頭の山羊を飼ひ得べく、一千二百英町の土地に六百英町の荒地あらば、五百頭以下の山羊を牧すること容易にして高さ三呎五吋の垣は以てこれを牧するに足るべし。

▲「豚は金になる」 　オレゴン州に於て特に然りとす。遠くは東部オレゴン州の茫々たる麥畑より近くはウキラメット流域の小農地に至るまで至る所の農家に豚を飼養せざるはなく従つて大にその産出を増加するに至れり、豚は十二ヶ月間苜蓿畠に放置し一日一回牛酪を製造したる後の牛乳を以て養ひ、又屠殺前一ヶ月ほど穀物を以て飼養せば二百五十磅の重量ある大豚となるなり。ポルク郡の一農夫にして十二英町の土地に朝鮮薊を植付け百四十頭の豚を飼養し頗る割よき利益を收むるものあり、豚はその種類の何たるを問はず販路弘く需要甚だ大なり。

▲馬 　オレゴン産の馬は力強く歩み疾く且忍耐強きと國中に比敵するものなく、而して此等の美質は飼養の宜しきと風土氣候の適するとに由るものにして、その結果オレゴン産の馬は強大なる肺と強健なる脚とを有す、キャスケード連山以東は乗馬の産地として氣候飼料之に及ぶものなく、彼の名馬フォスターが有名なる四哩大競走の練習をなしたるも實に此の地方なりき、ひとり乗馬のみならず此地方産出の馬は概して忍耐あり脚の強健なる

を以て有名なりとす。

西部オレゴンには荷馬車馬の名産地にして豊饒なる飼料は駒の時より早く重き荷車を牽くことを得せしむるなり、産出高頗る大なりと云へども未だ需要を充すに足らず。

▲牛 大規模の牧牛に至つては北西部地方を通じて大差を見ずと雖もオレゴン州には六百四十英町乃至二千英町の牧畜地も少からず、これらは全然肉屋に供給するを目的とするものにして短角牛、ダラム、ヘーアンオールド等の數種をこれが適種とす。キャスケード連山及沿海山脈の麓に此種の牧牛地頗る多くポートランド及ビュゼットサウンド地方の市場は人を此等の牧牛地に派遣して買出をなさしめ、以て地方に供給するが故にその價格も卑しからず、牧牛は一頭五十弗乃至百五十弗牝牛は一頭三十弗乃至百十弗なりとす、なほ牛に關しては酪農を説くに當り重ねて記する處あるべし

●産出高及價格は統計を参照すべし

◎オレゴン州の酪農

▲理想的の酪農地 　オレゴン州特に其西部即ちウキラメット流域及沿海地方は實に理想的の酪農地にして、其産物は品質の好良なるを以て名聲全國に噴々たり、一例を擧ぐれば『オレゴン乾酪』はひとり太平洋沿岸のみならず遠く東部諸州に於ても有名なる旅館は皆これを食卓に供し、佳香美味ロークフォールド及其他の舶來品と並び稱せらる。

▲需要多し 　ひとり乾酪のみならず牛酪も亦名聲頗る高く全國至る所に販賣せられ、特に近年に至りてこれが需要著しく増加し製酪業者は皆これが供給に繁忙を極むるに至れり、蓋し酪農はオレゴン州に於ける最も有望なる産業の一にして、數頭の牝牛を飼はゞ毎月の所得決して少々にあらざる也、オレゴン州は東部産の牛酪を輸入すること二十四万磅を超へずと雖も、ワシントン、アイダホ、カルフォルニア三州に於ける牛酪の需要は莫大にして加ふるにアラスカ地方の需要あるを以て、牛酪はその需要の點に於ては殆んど無限なりと云はざるべからず、要はその産出額を増加するにあり。

▲費用少し 　オレゴン州の酪農業は他州のそれと少しくその趣を異にし費用も又少し、農家は概して分拆器を所有するが故に各自應分の牛酪又は乾酪を製造して輕便に純良品を配達し得べく、又残余の汁は豚を養ふに最良の飼料となるべし、されば數年前には百六十英町の土地を耕作して大なる利益なかりし農業者も、僅かに四頭より六頭の乳牛を飼ふが爲に毎月少からぬ収益を見るに至れり、沿海地方に於ては八ヶ月乃至十二ヶ月間青草地上に絶ゆるとなきを以て飼料を欠ぐの憂あるとなく、元より東部オレゴン地方に於ては牧草のみを頼とする時は長からざれば他の飼料を以て之を補助するの必要ありと雖も、夏季の間一頭の牝牛を牧するに要すべき四英町の土地も之を適當の方法によりて耕作せば數頭の牝牛を一年間養ふに足る飼料を得ると難からざる也、オレゴン州は此如き飼料をつくるに土

地最も之に適するのみならず、此如き飼料は多量の滋養を含有するが故に乳牛の飼料としては之を凌駕するものなく、而して之が爲に要する費用も割合に少し、事實此如くなれば乳牛一頭を一年間飼養する費用は僅かに廿五弗にして、良種の乳牛は一年間に牛乳六千磅を産するが故にこれに積一頭を加へ其代價を五弗と見積り、又残汁每百ウエトの代二十仙牛酪每磅の價二十五仙と見積るときは合計六十五弗を價する者となるべし。

▲製酪業の進歩 ウキラメット流域及沿海地方は夏涼しく冬又甚だ寒からず、土地肥沃にして牧草波打ち河流縦横して給水の便宜しきが故に酪農地として國中これに凌駕するの地なき以て、數年來製酪所の設立せらるゝもの百を以て數ふべしと雖、需要の増加莫大なるを以て數哩毎に一個の製酪所を見るに至るも決して遠きにあらざるべく、且つ乳牛の品質はこれを十年前と比較するときには實に雲泥の差にして、ジェルセイ種をはじめアイルシャイヤ、ホルスタイン、デボン等を以てオレゴン乳牛の良種となし好評噴々たるものあり、價格は一頭三十五弗乃至五十弗を普通なりとす。

セントルキス博覽會に於てポートランド市を程距てぬラッド氏がクリスタリアム出品にかゝるロレッタ、デは世界一等の名聲を抑したりしが、此の乳牛は博覽會にて百二十日間に五千七百五十四磅四即ち一日平均四十九磅四十九の牛乳を出せりといふ、十年前に於ては乳牛一頭一年間の産出牛乳は二百十九ギャロンなりしが現今は三百九十七ギャロンに増

加せり、これを全國の乳牛に比較するときは一頭の産出高平均百八ギャロンの増加に對するオレゴン乳牛の産出高平均百七十八ギャロンの増加なりとす。

▲酪農の利益 農業者は大小に關らず酪農を本業又は副業とするは極めて利益あることなるを以て、西部オレゴンの農業者は一般にこの方法を採用するに至れり、今左に農業者の經驗談二三を紹介すべし

●ワシントン郡のミツケル氏は數年間鐵道會社の雇員として八十弗の月給を與へられ居たりしが、健康衰へたるを以て辭職しワシントン郡に赴き土地を買ふて九頭の乳牛を飼ひたりしが、今日はこれより得る毎月の収入百十五弗即ち三十五弗を收入に於て増加したるのみならず健康舊に復し壯健の人となれり。

●ジャンクシヨンシチーのニールソン氏は六頭の乳牛より自家用のクリーム及牛酪を取りたる後、牛酪を販賣して一年間四百弗の収益あり、又四頭の豚を飼養するに余りある牛乳を得るといふ。

●ブラオンスピルのホロウエー氏は十五頭の乳牛よりクリーム七百九十弗、肉百二十弗、乳汁二百七十五弗合計一千百七十五弗の收入ありといふ。

●産出高及價格は統計を参照すべし

◎オレゴン州の家畜業

▲未だ幼稚なり 今日オレゴン州の家禽業を談るもの多からずと雖も、これその規模の比較的小なるがためにして、實際に於て其の収益他の農業よりも大に且つ其の需要も年々増加するを以て近年酪農と共に著しき進歩を呈するに至れり、一千九百八年の産出高は約二百三十万弗なりしと雖も、これを二千万弗の産出あるアイオワ州又は一邑にして百五十万弗の産出ありたる加州と比較するときは元より幼稚なりと云はざるべからず、然れども土地及氣候は此業の發達に適し、且つその販路の大なるを見るときは將來の有望決して疑ふべからざる也。

▲家禽業の好適地 西部オレゴンは雨量尤も多くして氣候温和なれば尤も家禽業に適す、而も降雨は冬季即ち孵卵に關係なき時季に多きを以て、濕潤の氣候も此事業に差したる害を及ぼさざるのみならず、孵卵季は通例五月に當り此頃には降雨大方止むが故に一年中の最好時季を雛の成長に當つることを得べし。

夏の間は俄然劇烈なる風雨などあることなきを以て、東部諸州にて往々見るが如き雛の溺死などの恐あることなく、氣候は一体に清涼なるを以て雛の成長甚だ速かにして羽毛の光澤特に美麗なるが故に、西部オレゴンの家禽はこの一事のみにても品評會に於て優等賞を得るを常とす、南部オレゴンのオークランド地方は家禽業の中心にして鶏、家鴨等の外に有名なる七面鳥及雉を産出す。

▲販路廣し 風土氣候それ此の如くに此事業に適し又その進歩も年々著しきものあるにも關らず、現在の産出高は未だ地方の需要をさへ充すに足らざるのみならず、數年來アラスカに新販路を開きたるがためにオレゴン産の家禽及鶏卵は市場に常に高價に販賣せらるゝ有様なれば、此の事業の將來益々有望なるや疑ふべからざる也。

◎オレゴン州のハツプス

▲國中第一等 オレゴン州のハツプス産出高は優に國中第一等に位し、一千九百〇七年に於ける合衆國の總産出高二十九万五千ペール中オレゴン州は十三万ペールを産出せり。

▲土地費用及利息 西部及中部オレゴンは氣候溫暖にして濕氣多く日光を受くること多しと雖も、又時々濃霧の掩ふことあり、且つ成熟期に先ちて乾燥期に入るを以てハツプスの栽培には最上の好適地なりとす。オレゴン州現時の農業中利益最も多くして栽培の費用最も少なく、土地は一英町二十五弗乃至百弗平均五十弗内外にして收益までの年限も亦甚だ短く、今年の秋植付れば明年には多少の收穫あり、二年目には充分の收穫を得べし、而してその收穫の莫大なる實に想像も及ばぬ程にて、一英町より一千二百磅の收穫あるを普通なりとす、而して一磅の相場十仙内外なるを以て一英町の産出高は百二十弗以内ならざるべからず、然らば栽培の費用は如何と云ふにこれを東部の諸州と比較するときは甚しき差違あり、東部にては一磅栽培の費用は平均十仙なれどもオレゴン州にては僅かに六仙にて

足れりとす、只ハツプスの價は市場の相場に甚だしき變動あるを以て近年の如く十仙内外の相場にては甚しき利益なきが如しと雖も、數年前の如く一磅三十仙内外に上りたるときはその利益の大なる農産物中その右に出づるものあらざる也。

▲**ニユヨーク州との比較** 一千八百五十年にはオレゴン州のハツプス産出は僅かに八磅に過ぎざりしが、一千九百〇七年に至つて十三万ベール即ち二千四百四十四万磅を産出し、全國總産出高の三分の一を産するに至れり。此の如きはオレゴン州の氣候及地質のこれに適するによるものにして、ニユヨーク州に於ては數年間ハツプスを栽培したる土地は甚しく耗盡して、多量の肥料を用ふるにあらざれば再び耕作すること能はざる有様なれども、オレゴン州にては少しの肥料をも用ふるに及ばず、且又オレゴン州の氣候は尤もハツプスの栽培に適し冬期長からざれば早春の植付をなし得べく、特く西部オレゴンは氣候温和なればニユヨーク州にて見るが如き霜のために根株を殺さるなどの恐あることなし。

▲**産出地方** 沿岸三州に於てもハツプスの産出は加州の八万五千ベールワシントン州の四万ベールと比較するときは、オレゴン州の十三万ベールは非常の多額にして、而して此の多額の産出地はウキラメット流域中マリオン(セーラム地方)ボルク、リン、クラカマス諸郡にしてその他流域を通じて數千乃至數百万磅の産出ありとす。

◎**オレゴン州の菜園**

オレゴン州は諸種の菜園業に適しその種類も又多し、故に穀作又は牧畜等大仕掛の農業に従事する資力なき移住者は地域を撰んで菜園業に従事するときは収益決して少々にあらざるなり、菜園業中最大なるものにして又近來著しく進歩したるものはシュガービーツ即ち砂糖大根の栽培なるを以て左にその一斑を略述すべし。

▲**砂糖大根** オレゴン州に於けるシュガービーツの栽培は年々増加し、一千九百〇七年の産出高は二万二千噸にして其價は九万九千弗、これより製造したる砂糖は約五百万磅にして三十万弗を價せり。

砂糖大根耕作の中心は東部オレゴンのグランドロンド流域ユニオン、ラグランズ一帯の地方にして在ラグランズの製糖所は同地方の栽培を悉く需要するを以て、栽培者の受くる利益は他の諸般の農産物に優ること大なりとす。

オレゴン産のビーツは國中に産するシュガービーツ中の逸品と云ふべく、農務省の調査によれば普通ビーツの重量は平均二十オンスにして一割四分強の糖分を有し八割八分強の精製品を得べし、數年前オレゴン産のビーツ二百五十本を分拆したることありしが、中には三十四オンスの重量あり二割の糖分を含有するものさへありたり、一英町の平均産出は十二噸乃至十五噸にして三十四噸を産出したるものさへありと云ふ。

ラグランズ製糖會社長ダビッド、エツクルス氏はオレゴン州の砂糖大根栽培を評して左の

如くに曰へり。

『オレゴン州には農作地多しと雖も、今日まで農業者のシユガーピーツ栽培に注目するもの少かりしは、果して何故なるか予は解する能はず、現にユタ、アイダホの二州は此事業の莫大の収益あることを証明しつゝあり、若し農業者にしてこの事業を擴張せり一千五百磅の砂糖を製出するに至るや容易なりとす、グラントロンド流域には多數の新移住者ありて、切りにこの事業に精勵しつゝあるを以て將來極めて有望なりとす。

此處にて精製したる砂糖は多くミズラ河の東部に販賣せられ少くとも四分の三は同地方を市場となす、加州産の砂糖はその價低廉なるを以てこれと競争すると頗る困難なればオレゴン産の砂糖は州内に販賣せらるゝ高極めて少量なりとす。』

▲馬鈴薯 有望にして産出高年々増加し販路も又廣しポートランドを距る五哩の地に菜園を所有するメツガー氏は三英町半の菜園より二百五十サツクの馬鈴薯をつくり毎サツク一弗四十仙にて販賣せり、モニトル附近のシモンズ氏は一英町より百弗乃至百五十弗の産出を得、ペンネルトンのオブライヤン氏は一英町より百三十弗の産出を得たり、馬鈴薯は州内至る所利益ある産物にして一英町の産出高は平均二百五十ブシユル乃至三百五十ブシユルに達し市場の小賣相場は一サツク一弗を平均の價とするが故に其利益推して知るべき也

▲玉葱 オレゴン州に於ける玉葱栽培の利益は中西部地方に於けるよりも大にして、南部

オレゴン産の玉葱は世界の最良種なりとの評あり、イーグルポイントのハツスルトン氏は三英町半より十一万八千七百磅の産出を得、一英町につき二百二十五弗の収益ありたりといふ、又ハツバード附近のサンダース氏は三英町より四万五千磅平均の産出を得二千三百弗平均の價格に販賣せり、氏が栽培の費用は一千八百弗なるを以て収益は一英町につき百七十弗なりとす。

その他カリフラワー、キャベージュ、タルナツプ、ベース、ペーンス、トメト、セルリ、アスパラガス、ピーツ、バルシナツプ、レヂツシユ、レタス、スピナツチユ、スクワツシユ等はコロムビヤ及ウキラメット兩河畔の地に栽培して産出多く品質も又好良なり。

◎オレゴン州の果樹園

▲赤き林檎の地 オレゴン州は豊饒の地、その特に果物の産出の豊なるは早くより「赤き林檎の地」と稱せられしに徴しても知るべし。諸種の果實は云はずもがな優にやさしき橄欖の實さへ成熟甚だ好し、オレゴン州に於ては栽培者は常に諸種の果實に最も適したる土地を撰み得るのみならず、又その氣候をも撰擇することを得べし、即ち寒暖の差甚しき地方を欲せば東部オレゴン最も適し、美景晴空の地を求めば南部オレゴンは即ちその地なりウキラメット流域は延長二百哩氣候溫和にして地肥ゆ、若しそれ潮風面を吹く沿海地方に至つては豊沃なる流域その數を知らず、オレゴン州は眞に園藝家が天然の理想地なりとす

▲人工的灌溉と果樹園 キヤスケード連山以東の曠野は由來不毛の荒地の如くに考へられたりしが灌溉の道開くると共に進歩的なる農業者及園藝家の奮發により驚くべき豊饒の沃野と化せり、延長十二哩乃至三十哩の溝渠は數千エーカーの間を縦横して不毛の荒野をば忽ち豊饒なるオーシスと化し去りぬ、例せば株草を植付けたる數百英町の地は驚くべき成功を示し、一英町より七噸以上の收穫あり、又數百英町の果樹園あり桃、苹果、梨子等を植へその成長結實の情態尤も完全に近しと稱せらる、荒涼不毛の瘠地を變じて花爛熳果實累々の沃野と化する灌溉工事の開墾に及ぼす効果は想像も及ばずと云ふべし、此の地方に産する果物は美麗にして味善く葡萄の如きは房の長さ十吋ありマーブルの如き果實累累として群る、彼のシカゴの世界大博覽會に於て金牌を得たるオレゴン産の葡萄は實にこの東部オレゴンスネーク河畔の産なりとす。

▲人工的灌溉不要の地 キヤスケード連山以東の地と雖も悉く人工的灌溉を要するにあらず、美麗なるグランドロンド、ワロラ、バルトン、バオダー、イーグルクリーク等高原地方に散在する無数の流域及コロムビヤ河畔のフッドリバー流域等は給水を人工的灌溉に仰がずと雖も、最も果樹園業に適する地にして透迤たる丘陵を以て特に然りとす、蓋し梨子、苹果、櫻桃、等果實大にして色鮮かに美味佳香の優物は此等の流域に産するものを以て冠とす、コーブ及ラグラン地方の覆盆子は世界一等の稱あり、又この地より産するジャカ

ンダ莓は一英町より五百弗の收穫ありたりと云ふ、蓋し東部オレゴンに産する果物は土地の高さと氣候の乾燥なるとにより特に貯藏に適する性質あり、又櫻桃は成熟期に降雨なきがために龜裂を生せず、日光充分なるが色鮮かに市場に出づること遅きが故に却つて倍數の價にて販賣せらる。

▲フッドリバー流域 フッドリバー流域及附近の丘岡一帶の地方は特に苹果及莓の名産地にしてその果樹園に開墾せらるゝもの年々數百英町あり、此地は特に香佳に色美しく大にして長く貯藏に堪ゆる堅き苹果に適するが如し。地方の栽培者は競ふて第一等の苹果のみ産出することを勉むるが故に形容品質共に比類なき逸品なりと稱せらる、近年に於ける苹果の産出は四十磅箱二十五万及三十万箱にして、而して毎箱一弗二十五仙に販賣せらる又スピツェンバルグ種は一箱二弗ヤローニエトン、ピツピンの二種は一弗八十仙を相場するとあり、而も今日の苹果園は栽培に適する土地の五分の一に過ぎざるを以て、五年の後には百万箱十年の後には二百万箱の産出を見るに至るや疑ふべからず。

フッドリバー産の果物は苹果及莓共に販路甚だ廣く、莓は西部及中西部の諸州を市場とすれども苹果に至つては東部及英、獨、佛等歐洲諸國に輸出するもの少からず。

▲南部オレゴン 南部オレゴンの地味はローグ、アンブカの兩流域に見るが如く概して花岡石質なるが故に、特に果樹の栽培に適す、只産物の販路フッドリバー産のもの、如くに

廣からざるを以て果樹園地としての名聲未だ高からずと雖も、早晚大なる發展を見るに至るや疑ふべからず、此等の流域には桃、梨子、苹果、プラム、ブルーイン、アブリカット、扁桃、櫻桃、葡萄等悉く生長結實せざるはなく、特にローグ河の流域は地味氣候共に彼の有名なる佛國のバルガンデー流域に酷似すと稱せられ、酒造用葡萄の栽培に無上の地と稱せらる、さればこの流域一帯の地方も久しからずして葡萄園の掩ふ所となり、加州、佛國又は獨逸に劣らぬ葡萄の産地たるに至るや疑ふべからず。

▲ウキラメット流域 嗚呼大にして美麗なるウキラメット流域よ、この流域は由來美味佳香の果物を産す、元よりこの地方の産物は乾燥なる高地の地物の如く長く貯藏に堪へ難しと雖も、大にして色鮮かに香佳なる點に於ては決してその右に出づるもの少なく、且運輸の便大なるを以てこれが販路も又極めて大なりとす。こゝには苹果、梨子、プラム、ブルーイン、櫻桃、扁桃、アブリカット、葡萄等盛に生長結實す。

第五章 事業經營の方針

◎土地所有權

永住の計畫を立つるものは元より、多年在留して事業を經營せんとするもの、第一に知らんと欲する處のものは土地所有權の有無なり。ワシントン州に於ては外國人に土地所有

權なく、カリフォルニア州に於ても外國人に土地所有權を與ふるの可否は州會の大問題となり、ために在留日本人をして甚しく痛痒を感ぜしめたりしかども、オレゴン州に於ては外國人もその歐洲人たると日本人たるとを問はず、米國人と同じく確實なる土地所有權を有し、又現にこれを所有するもの少からざるを以て、永住の目的を以て事業を經營せんとするもの、ために沿岸無比の便利あることは更に喋々するを要せざることにして、又土地所有權ある地にしてはじめて移住者が自由なる眞正の發展を見ることを得べきは論を俟たざる所なりとす、此を以て左に少しくオレゴン州に於ける白人が土地購入の方針と農業經營の一斑を談らんとす。

◎土地購入の方針

土地の相場は地域によつて異なれり、例へば平野にして交通の便宜しきウキラメット流域の如き地方と、高原にして交通の便悪しき東部又は中部オレゴン地方とは土地の價格自ら異なり、又同地域に在つても地味と開墾の情態とによつて大差ありとす。

白人が土地を所有せんがためにこれを購入するには左の方針によるもの、如し。

第一、農作物の品質によつて判断し比較的地味の肥沃なるもの、を撰む

第二、大小に關らず都會即ち市場に近き場所を撰む

第三、農作物を販賣するに運輸の便宜あり且つ費用の少き地を撰む

第四、農作地に附屬する家屋、厩屋、小舎、穀倉、秣舎等の有様により又その建築の費用の少なき地を撰む

第五、開墾したる土地と開墾せざる土地との面積の比較によつて撰む

第六、垣の有無

第七、給水の方法

第八、家畜を野飼し得るや否

第九、開墾其他の費用

第十、氣 候

以上の諸點に注意して土地を吟味し、其の長短を比較して得失を測量するときは、土地購入の方針を立つること難からざるべし。

北東部オレゴンの穀作地方に於ては一千九百〇四年の相場にては、即六十英町乃至三百二十英町の土地にして、凡て開墾の見込あり垣を繞らし相應の家屋を有し、一日の中に農作物を停車場に運搬し得べき便利あり、且つ一英町二十乃至三十ブシユルの小麥を産出する土地は、一英町十五弗乃至二十弗を價するは普通にして、地味更に肥沃にして多少の果樹を植付け相應の家屋を有し、泉水又溪流によつて給水の便ある土地に至れば、一英町五十弗以上にして此等の土地は購入者に於て垣を圍らす等諸般の改良を加へざるべからずと雖

も凡て此等の流域の土地は夏季休閑制度なるを以て、土地の半は毎年穀類を産出す、而して穀作の費用は百六十英町乃至三百二十英町の土地に於ては購入費に對する利子と税とを合算して一ブシユル三十五仙乃至四十仙にして、一英町の産出額は二十五ブシユル乃至四十五ブシユルなり、又此以上の産出を見たる土地なきにもあらず。

又一時に購入すること能はざるものは借地によつて經營を始むることを得、借地料は土地の産出力によつて異なるも通常收穫の三分の一以上なりとす。

三百二十英町の土地を所有する農業者は通常輕重二臺のタイムを有するを常とし、又農具は最新式のものを用ふるを以て最も經濟的なりとす。

中部及東部オレゴンの大なる牧畜地を購入せんと欲せば、撰擇の方針は自ら異なり、灌漑宜しきを得て一年間にアルフォルファ(秣草)三回の收穫ある土地數百英町を有せざるべからず、此等の地方にては牧羊にもせよ將た又牧牛にもせよ冬季の外は農場に於て飼ふことを要せざるを以て秣草は單に嚴冬の用意に供ふるに過ぎず。

◎土地の相場

ウキラメット流域に於てはポートランド市の附近即ちモルトノマ郡を除くの外他の八郡に於ては平均地價甚しき差を見ず、概して平野にして六七哩の間には相應の都邑あり、鐵道停車場あるを以て交通運輸又頗る大なりと雖も、各郡共開墾の情態によつて土地の價格に

大差なき能はず又農作地の面積も大は百三十英町乃至四百八十二英町より小は二十四英町乃至六十五英町にして大小の差ありと雖、此の流域に於ける農業の趨勢は年々小農制度に向ひつゝあるを以て、近來は大農作地を數個に分割して盛んに移住者を歓迎しつゝあり、然れども百六十英町以下の農作に於ても開墾の割合は全面積の六割内外を常とするを以て残余を開墾すれば其の生産力を増加するの余地甚だ多し、若しそれ大なる農作地に至つてその既に開墾せられたるものは全面積の四割五分を超過せざるなり。

今試に百六十英町以下の小農地作と以上の大農作地とによつてウキラメット流域の七郡に於ける地價の一般を示せば左の如し

ワシントン郡	小五十四弗	大三十九弗
ヤムヒル郡	小百十九弗	大二十一弗
マリオン郡	小四十六弗	大三十五弗
ポーク郡	小五十二弗	大二十二弗
リン郡	小三十三弗	大二十三弗
ベントン郡	小三十三弗	大二十一弗
レイン郡	小三十三弗	大二十六弗

モルトノマ郡及クラカマス郡は共にボ市に接近するを以て土地の價格は從つて他の諸郡よりも高し。

沿海地方に於ても土地の情態によつて地價一樣ならず、チラモーク灣附近の地方は州中第一等の酪農地たるを以て一英町五十弗乃至七十弗は普通にして、其の他の灣港附近の地方

も英町二十弗より三十五弗に下よす、然れども港灣附近にあらざれば他の流域地方に比較して地價凡そ半額なりと雖も、こは地質の悪しきが故にあらずして運輸の便を欠ぐに因るものたるが故に、早晚鐵道の布設と共に地價を騰貴するに至るは疑ふべからざる也。

沿岸地方にはスキヤンデナビヤの移民(瑞典、諾威人)最も多きはその風土氣候及産業の種類が彼等が生活に適するがためにして、彼等は年々その移住者の數を増加しつゝあり。

南部オレゴンの小農園は果物及野菜を以てその特産物とするが故に、果樹園及菜園の態情によつて其の價格を異にし、一英町七十五弗乃至百弗を以てその普通の價格とす、但し牧畜を主とする五百五十英町以上の大農作地に至つては平均十三弗内外なりとす。

◎農業經營の方法—資本金の利用

一千弗の資本を有する移住者は土地を購入して利益ありや

然り一千弗の資本と雖も移住者自らその購入したる土地を所有して耕作に従事するものは利益あり、然らば如何なる方法を探つて農業を經營すべきか。

かゝる小資本の人は事情止むを得ざるを以て都會及鐵道を少しく遠かりたる土地を撰まざるべからず、試に小なる家屋と厩屋と小なる菜園と果樹とを有し、一英町十弗乃至十五弗の土地四十英町乃至八十英町を購入するがためには八百弗を要すべし、先づ正金にて四百弗を拂ひ残余は六分の利子を付して二年後に支拂ふ契約を結ばば正金にて六百弗を殘

すべし、車一臺に馬二頭(百七十五弗)羊八十頭(二百四十弗)乳牛一頭(三十弗)牝豕一頭(十弗)鶏二十四羽(六弗)農具一切(五十弗)を購入するもなほ必要なる家具及當座の食料のために八十九弗を遺すべし、此等の設備をなしたる後先づ半英町の菜園をつくれれば一家の需要を充すことを得べし。只こゝに一の大切なる決心は都邑に出づるときは決して空手振にて行くことなく、野菜にもせよ果物にもせよ鶏卵にもせよ何物か金に換へ得べきものを携へ行き、事業上必要止むを得ざる物品を買ふの外は家を出てし時よりも少き金を懐にして歸らぬやう心掛くべきことなり。此の如くにして先づその土着の方針を定めば、その後如何なる種類の農業に従事すべきは其移住したる地域によつて定めざるべからず、思ふに此問題に關しては地方の事情を研究したる上にて決定すべし。

又二千弗の資本ある者は如何なる方針によつて經營するか。

二千弗あれば一般農業の爲に都邑及鐵道近くに小農作地を買ひ得べく又は五英町乃至十英町の果樹園を購入し得べく高原地方又は沿海地方に至らば更に大なる土地を買ふを得べし今假りに都會より三哩以内にて五十英町は既に開墾せられ相應なる家屋と厩屋と果樹園とを有し、給水の便宜しき土地八十英町を買はんとせば二千五百弗を拂はざるべからず、假りに其半額即ち一千二百五十弗を正金にて拂ふときは殘金は七百五十弗にしてこれを次の如くに利用することを得べし。

荷馬車一臺百七十五弗、羊二十五頭七十五弗、山羊二十五頭百弗、牝牛五頭百五十弗、牝豕一頭十弗、鶏二十四羽六弗、鋤、耙等の農具五十弗、

以上の費用を支出してなほ殘る百八十四弗は衣食住の必要なる諸雜費に供して余あるべしウキラメツト流域に於て二千弗の資本を以て農業を經營せんとするものは左の方針を採るが如し、但し土地の平均面積は百七十二英町にして開墾せられたる者二十七英町あり、都會及停車場を距ると三哩半なりとすれば、地代は凡そ一千四百七十弗にして假に其半額七百卅五弗を正金にて支拂ひ、殘る半額は六分の利子にて二年間に支拂ふべき契約を結べば事業經營費としてなほ一千二百六十弗を遺すべし、而して彼等は之を左の如くに支出す。

牝牛	五頭	百七十弗
二歲牛	五頭	百弗
一歲牛	五頭	六十弗
羊	五十頭	百五十弗
山羊	五十頭	二百弗
馬	二頭	二百弗
猪	二頭	二十弗
鶏	二十四羽	六弗
荷馬車	七十弗	九百一十一弗

ハーネス	二十五弗
ブラウ	十弗五十仙
ハロー	十四弗
レーク	三十弗
雑具	二十五弗

合計一千〇八十五弗五十仙

以上の諸費を支拂ふてなほ殘金百八十弗あるを以てこれを衣食住の費用に當るを得べし。又假りに五千弗の資本金あるものならば北東部オレゴン又はコロムビア流域の麥田を購入するときは、一英町二十弗の相場にて三百二十英町の代價半額を正金にて支拂ふときは、地代は三千二百弗にして馬車輕重二臺、馬具、ブラウ、ハロー等必要な農具一切に九百五十一弗五十仙、外に牝牛二頭六十弗、牝豚三頭三十弗、鶏二十四羽六弗とするときは合計四千二百四十七弗五十仙にして、殘金七百五十二弗五十仙を收穫期に至るまでの生計に當つることを得べし、三百二十英町の麥田はこれを二部に分ちて毎年一部の收穫は四千ブシユルに下らざるべし。

然れども農業者の望により麥田を撰まずして一般農業の經營をなさんと欲せば、ウキラメツト流域若しくは南部オレゴンのダグラス郡地方には最も恰好の土地あり、牧畜を以てその主なる産業となすべし。

55

一万弗以上の資本金あるものには一般農業果樹園及麥田の外に大仕掛の牧畜に従事して成功し得べき望あり、此等の移住者は西部オレゴンの曠野を撰めば一英町六弗乃至十五弗にて一千英町乃至二千五百英町の土地を購入することを得べく、かゝる大なる土地には相應の家屋、厩屋、果樹園の外に給水の便も宜しく稜草の供給も充分にして萬事完備すと雖もかゝる土地は元よりポートルランドを去る百二十哩以内にして鐵道停車場より三哩乃至十哩を遠りたるものなりとす。

土地は概してポートルランドよりの距離の遠近によつてその相場を異にし一英町十五弗乃至二十五弗に達するものあり。

農作地はこれを抵當として最も好評あり、州の土地局にてはこれがために六分の利子を徴收して地價の三分の一に達するまでの資金を貸與す。

農作労働者の賃銀は住食を給して一ヶ月二十五弗乃至三十弗にして、經驗ある搾乳者は三十弗、普通労働者は十月より四月までは二十五弗、四月より十月までは三十弗なりとす、ハツプス摘は一箱四十仙は平均にして、果物摘は一日一弗五十仙より二弗、フィドリバー地方の莓摘は摘賃一箱一仙五厘、バッキンク半仙にして一クレート四十八仙を得。

家屋建築等のためには材木を要するが故に農業經營者にも材木の相場を知ること必要なり左にウキラメツト流域に南部オレゴン地方に於ける相場の一斑を報ずべし。

普通の粗材一千呎の代
寸を採りたるもの一千呎
床板中品一千呎
壁板中品
外張板
屋根板一千枚

七弗五十仙
八 弗
十七弗
二十二弗
十八弗
二 弗

農具の價は西部及東部オレゴンによつて價異なれども大畧左の如し

荷車三呎物	西部オレゴン 八十二弗 二十五仙
ステールプラウ十四呎物	東部オレゴン 八十五弗
ローリングハロー八呎物	一吋一弗の割
マツコルミック四號モ一ア	四十五弗五十仙
バインダー	五十弗
パイプトウアイヤヘンス用一磅	六十弗乃至六十五弗
ロツギングチエン磅	百四十弗 百五十弗 百五十弗 百五十弗
	四 仙 三 仙半 八 仙 八 仙

●●●●●●●●
◎購入したる土地の處分

第五區域即ち

北東部オレゴンの麥作地に於ては生産力は地價に比較するを以て、假りに十五弗一英町の土地とすれば毎英町の産出は二十五ブシユルにして五十弗一英町の土地にあつては四十五ブシユルなりとす、而して土地の價は都色、鐵道學校及副産物産出有望によつて定まる者とす然れども麥作地一年の收穫は土地の半分よりする者にして、他の半は夏の間に耕耘さるべからざるが故に百六十英町の土地ありとせば、一年に八十英町より收穫するものにして二十五ブシユル産出の地なれば約二千ブシユルを收穫することを得べし。而して一ブシユルにつき六十三仙の相場にして耕作及收穫の費用、土地購入代二千四百弗に對する六分の利子等をブシユル三十五仙と見積るときは、ブシユルの純益は二十八仙にして即ち一年間の利益は五百六十弗なりとす、然れども地代の外に馬、荷車、其他一切の農具代七百五十弗を加へて其年に投じたる資本を三千百五十弗と見積るときは、初年の純益は約一割七分三分の二に相當す。

以上は單に麥作よりのみの利益なれどもなほその収益を大ならしめんとせば残る半分の土地をも利用せざるべからず、こは成功せんとするものには極めて緊要なることにして決して怠るべからざることなり、先づ豚と鶏を飼へば大に利益あり、又豆その他の野菜を植付

くべし、玉蜀黍も又大に可なり。

ウキラメット流域の八郡は一般農業を主とするが故に、果樹及ハップス栽培に供する小農作地多しと雖も、八十英町乃至六百四十英町の大農作も少からずとす、然れども此地域に於ては近年コルパリスの農科大學これが主動者となり、六百四十英町大の大農作地はそれを區分として數個の小農作地となすの趨勢壯なるを以て、この地域は特に小資本の農業者に有望なりとす。

以上は決して座上の空論にあらずしと地方の農業者が多年の實驗に基ける極めて確實なる調査にして、此等の人々は地方に於ける農業經營の方針として左の三條を鼓吹しつゝあり

第一、實際利用し得るよりも多くの土地を所有すべからず

第二、自用のためにはその産出物の粗品を以てし販賣には既成品を以てすべし

第三、農具は可成最新式のものを用ひ牧畜及麥作共凡て其の種類と種子との撰擇に注意すべし

今試に農業者はウキラメット流域地を購ふて移住するとせんか。

第一、内百英町は既墾地にして六十英町の未墾地ならば如何すべきか

収益を多からしめ土地の産出力を維持せんとするには、曰く可成的多くの牧畜をなし農酪を主とすべし、曰く未墾地に山羊及羊を飼ひ後開墾すべし。

第二、然らば如何なる方針にて牧畜すべきか

答は一ならずと雖も、先づ八頭乃至十頭の牝牛と十五頭乃至二十五頭の羊と同數の山羊とを未墾地にて牧すべし、又三頭以上の牝豚と四十羽以上の鶏を飼ふべし。又勞働者を雇ふ資力あらば牝牛の數を五十頭に増加するも可なり。

第三、牧畜上に於ける秣草收穫の關係如何又その種類は何を以て最良とするか曰く

牧畜の成功は主として秣草の供給の充分なこと否とによつて定まるものなり而して秣草はウエムス(野豌豆の類)レッドクローパー、玉蜀黍、甘藍、野豌豆、野葡萄の莖等を可とす。

以上の方法によつて牧畜するときは収益は大畧左の如し

乾酪を製造してクレーマリーに販賣するときは牝牛一頭にて一ヶ月平均六弗乃至八弗にして乾酪を製造したる牛乳の残汁は豚、小牛及鶏の飼養のために七弗乃至八弗の價値あり、故に牝牛一頭にて十ヶ月の間八弗の産出ありとすれば二十頭にて少くとも百四十四弗の収益あり、又牝牛十頭を産すれば百四十弗の價あり、牡牛は十頭にて八十弗に販賣することを得べく、豚は十二ヶ月成長のものは一頭十弗なるを以て二十頭を販賣すれば二百弗なり以上のみにて約一千八百六十弗の収益あるに加へて、羊、山羊、鶏、鶏卵、羊毛等より來る収益を算するときは牧畜業の収益は小規模と雖も又大ならざるを得ず。

第六章 ポートランド市

◎位地―天城の門口

ポートランド市はコロムビア、ウキラメット二大河の合流點に近く位置なるが故に、この二大河の流域たる大にして豊饒なる二十五萬平方哩の地方の産物を海外に輸出するがために太平洋に達する天成の門口なりとす、この天成の地勢は實にポートランドをして大都會たらしめ大貿易港たらしむる所以のものにして、人爲の區劃に従へば僅かにオレゴン州の一都會たるに過ぎずと雖も、これを地理上より觀察するときは北西部地方の商業と政治とは全くその權能の範圍を異にするが故に、商業上に於けるポートランドの權能はオレゴン州は勿論弘く全北西部に普及す。

オレゴン州ワシントン州の東部及南部及アイダホ州は大小の河流に貫流せられ所謂幾多の流域なるものを形成す、而してポートランドは此等流域の總合點に位するが故に、此等の地方とは天然に商業上密接なる關係を有す。それ水は低きに流れ商業は常に水流に隨つて發達するは古往今來東西の別なく不變不拔の眞理にして、ポートランドがオレゴン、ワシントン、アイダホ諸州の商業を引受け、又此等の地方は商業上ポートランドに依頼せざるべからざるは地勢上自然の數なりとす。

試に地圖を開いて北西部地方の地勢を察するに、太平洋岸北西部に於ても大小の水流は流れては合し合しては又流れ遂に一點に總合せられて太平洋に注ぐ、而して此總合點はコロムビア、ウキラメット二大河の會合する處にして即ち又ポートランドの位置なりとす、東部ワシントン及東部オレゴンのコロムビア流域及アイダホ州のスネーク流域は合して世にインランドエムバイヤと稱し、北西部地方の最大富源地にして鑛山に富み、又一望茫茫として際涯なき沃野にして太平洋沿岸に於ける最大なる小麥其他の穀類の産出地なり、今日までは此地方の産物の半はキャスケード連山を踰へてピユゼットサウンド地方即ち沙港及タコマ等に輸送せられたりと雖も、北岸鐵道の開通と共にコロムビアの兩岸に沿ふて下る鐵道及河上を往復する河船の供する運輸の便は、決してキャスケードの峻嶺を攀ぢ上る線路の及ぶ所にあらざるを以て、北岸鐵道の開通と共にポートランドは地理の優勢上商業の發展に於て更に一大飛躍をなすに至れり。

◎合衆國有數の淡水港

ポートランドは合衆國有數太平洋沿岸唯一の淡水港なり。港は市の中央を貫流するウキラメット河にして河の深さは廿五呎乃至三十呎あり河底を浚渫して築港を完成するがために二百万弗を費したりと云ふ。四十萬弗のドライドックを始めとし埠頭、荷揚場、倉庫等は河の兩岸に楯比し設備頗る整頓せり。コロムビアの河口を遡ること百哩の上流に位すれども

港の面積は頗る廣濶く數十艘の船舶を一時に碇泊せしめて更に狹隘の感なし。又ポートル
 ンドよりコロムビアの河口に達する間は河底を浚渫して二十六呎以上の舟路を通じ、コロ
 ムビア河口のバーは從來頗る難場の如くに考へられたりしが、合衆國政府は盛んに河口に
 防浪堤を築き舟路の改良に従事しつゝあり、其の功既に今日に於て著しく、最近の報告に
 よれば二十六呎以上の深さを得たりと云へば、竣工の曉には三十呎乃至四十呎の深に達す
 べく、従つて河口に關する從來の誤解を一掃するに至るべし。さなきだにポートルンドは
 大陸を横斷する諸鐵道の西端停車地なるが故に陸上運輸の便に卓越するものあるに、かゝ
 る安全なる良港を有するを以て、海外及沿岸貿易の要港にして萬國の船舶常に此處に輻輳
 し帆橋河岸に林立す。而して此等の船舶の大部分は地方の特産物たる木材及穀類輸出のた
 めに入港するものにして、ポートルンドは木材の輸出にて世界第一等の榮冠を有するのみ
 ならず、又小麦その他の穀類輸出に於ても沿岸第一等に位す、今日に於ては木材と穀類と
 はその輸出貿易の九割を占むれども、近來地方の發達に伴ふて製造工業も駸々乎として進
 歩するに至りたるを以て、將來の貿易は必ずしも此等未製品のみに限られざるべし、スウ
 キフト會社の製肉所の如きはその一例にして、運輸機關の發展と共に早晩未達の富源は達
 せられ未開の寶庫は開かれ、商工業の益々盛大に赴くべきは疑ふべからざるなり。是故に
 地方貿易上の形勢より觀察するときはポートルンドは太平洋沿岸北西部に於ける分配の中

心にして又海外貿易の要港なりとす。

◎商業貿易の中心

上記するが如き天成の地利を有するポートルンドが商業貿易の中心たることは蓋し又自
 然の數なりとす。

ひとり水陸運輸の便に卓越するのみならず。東西南北數百哩の間に蟠まると田野及山林は殆
 んど無限の富源を藏し、其の産物は期せずしてポートルンドに輻輳し來り、此處より世界
 萬國の市場に向つて輸出せらるゝなり。

貿易の中心たる第一の要件は運輸の便に卓越することなるが、ポートルンドはこの點に於
 ては太平洋沿岸第一等なりと稱せらる、即ち陸上にあつてはポートルンドを終端停車地と
 する鐵道はユニオンパシフィック、南太平洋、オー、アール、イン、北太平洋、大北、加奈
 太太平洋、スポケーン、ポートルンド、シアトル(北岸鐵道)パーリングトン、アストリヤ
 コロムビア、リバー等にしてシカゴ、ミルウォキイ線もオー、アール、イン線に連續してポ
 ートルンドを終端となさんとし、また電鐵にはポートルンド電鐵、オレゴン電鐵、オレゴ
 水力電鐵、エナイテッド電鐵、マウントフード電鐵等あり、更に水路に至つてはポートル
 ランドを終端碇泊港とし或は根據地とする汽船會社は、ポートルンドアジアチック(日本
 及び支那行)ポートルンドサンフランシスコ、カルフォルニヤオレゴン、ダーラスポートル

ランドアストリヤ、スペインセル組、コロムビア河及ビュゼットサウンド、ケロツグ通運
 シエバー組、キヤム組、ワシユゴールラキヤマス通運、マトソン(布哇行)等なりとす。
 小麥の輸出に於てポートルランドは合衆國中第三に位し、ニューヨーク及ガーベストーンに一步
 を譲るのみ、而してその輸出先はリバポール、日本の諸港、香港、マニラ、中央亞米利加
 浦壙、濠洲等の諸外國及加州其他の沿岸地方にして、一千九百〇八年の輸出總額は一千三
 百四十一萬一千五百八十ブシユルこれを金高にすれば一千二百五萬三千七百六十七弗なり
 とす。

その他の輸出品としては木材をはじめ一たび製造家の手を経たるものも又決して尠からず
 これを統計に見るに一千九百〇八年度に於けるポートルランドの輸出貿易は一千七百六十五
 萬八千八百十九弗にして輸入貿易は三百七十五萬八千七百五十二弗なり、又同年度に於け
 る問屋商賣は凡そ二億五千弗にして、これを前年度に比較するときは三千萬弗以上の増加
 を見る、かゝる多大の増加は必竟するに水陸運輸の便の卓越に歸せざるべからず。

◎製造業の根據地

ポートルランドは四圍原料の産出に豊富なる地方に圍繞せられ、而してこれを運搬するに卓
 越したる水陸運搬の便あるを以て、製造工業の根據地たるは決して怪しむに足らず。ポー
 トランドの製造所は東洋及内地の市場に年々巨額の材料を供給しつゝあり、先づ木材より

云へばポートルランドは世界最大の木材産出地にして、其輸出先は外國にありては日本、支
 那、南亞弗利加、西印度諸嶋、南及中央亞利加、南洋諸嶋等にして、内國にあつては加州
 及ミシッピ流域等最も多しとす一千九百八年の製造高は五億一千五百十七萬五千六百十
 九呎(價格三百六十三萬五千弗)にして輸出高は一億五千六千六百八十八十五呎(價格
 百九十一萬八千五百〇一弗)なり又麥粉は一千九百〇七年に百二十三萬九千七百〇四バ
 ル(價格四百五十七萬三千三百五十弗)一千九百八年に八十五萬八千八百四十五バル(價
 格三百十四萬八千四百三十四弗)を輸出せり。
 ポートルランドには凡て二千三百の製造所及工場あり、資本金總額は約三千三百萬弗以上
 して職工の數は二萬五千人一ヶ年の給金總額は一千萬弗製造高は六千萬弗以上なりとす。

◎メトロポリス

商工業の情態より更に進んで市の生活を觀察するにポートルランドはオレゴン州のメトロポ
 リスにして有ゆる最新式の便利を供へたる大都會なり、而して交通の便宜しきが故に市風
 は純終たるコスモポリタンなりとす。
 第一に市の面積は四十五方哩にして人口二十五萬五千を有す(近刊のポートルランド人名錄
 に由る)これ近々五十年間の發達にして即ち一千八百六十年には人口僅かに二千に足らざ
 る一寒村なりき。

市は道路の改良に莫大の費用を投じセメントを舗いたる街路の哩數は既に三百哩に達せり
 ポーランドの市街には電車縦横に走せ線路の哩數は約二百哩四百八十臺の電車を往復せしむ。

ポーランド郵便局は年々収入を増加し一千九百〇八年の切手賣上高は六十八萬〇六百八十二弗余にして、一千九百〇七年の爲替金高は一千百一萬三千百七十四弗余なり。

ポーランドの電信會社は日々一萬一千乃至一萬二千音信の電報を取扱ひ又人口に比例して電話の數の多きこと世界第一と稱し現今使用せらるゝもの三万以上あり。

ポーランド北西部地方金融界の中心にして銀行二十三個あり。

ポーランドには五個の日刊新聞あり、週刊及月刊の新聞雜誌も數多あり。

又娛樂の中心にして八個の劇場あり。六個の病院の外に養老院、育兒院、孤兒院、救助院等公共慈善の機關完備す。

旅館は多く最新式の建築にして舊式のものも續々改良して最新式の設備をなしつつあり。

ポーランドは北西部に於ける社交の中心にして地方に有名なる結社は此處に集會所を設け俱樂部にはアーリングトン、コムアーシャー、コンコルヂヤ、モルトノマ、ユニバーシティー等第一流の俱樂部あり。

その他水道、下水、公園、消防、學校、教會等の諸機關に於ても悉く最新式の設備にして

自ら太平洋岸北西部地方のメトロポリスたる資格を具備す、されば合衆國政府は此處を以て地方に於ける行政及司法の中心となすのみならず、諸外國もこゝに領事館を設くるもの少からず即ち左の如し。

日本、清國、英國、以國、獨逸、佛國、瑞典、諾威、

◎教育、宗教、及美術

ポーランドは州立大學の所在地にありされども普通及専門の學を收むるもの、ためには便利尠からず、法律學校一、醫學校一、共に州立大學校に屬す、齒科醫學校一、宗教に屬する學校十三、軍制學校一、商業學校五、豫備學校一、私立學校三十八、徒弟學校二に公立の中學校及小學校を加へ教育頗る隆盛なり、二十才以下の學童の數は三萬四千余にして就學者の數は二萬一千余なり。

ポーランドは合衆國に於ける美術界の一中心をなし西部に於けるポストンの稱あり、美術館には古今の名畫、彫刻等の陳列あり、カメラ俱樂部は國中第三に位する大俱樂部なり、圖書館には八万冊以上の書籍を藏し市立にしてカーネギー氏の寄附を仰ぎたるものにあらず、教會は有ゆる宗教宗派を代表し、會堂の數百三十一個にして二百二十二萬五千弗の價格なりと云ふ、基督教男女青年會館は市民の寄附にかゝる三十五萬弗の建築費を投じて六層の大會館を建築せり。

◎建築、水道及公園

一千九百八年に於ける建築数は四千八百五十九件にして價格一千〇四十八萬五千四百四十一弗、前年に比して三割七分余の増加を示し國中第一等なりと稱せらる。ポートルランドの水道は四百二十五弗を費したる大工事にして、水源は市を東に去る四十哩白雪皚々たるフールド山下に發するブルラン上水にして、清冽なると沿岸無比の飲用水なり市の死亡数は人口千人に對し九人半の少數にして合衆國中第二に位する健康地なりと稱せらる。これ一は溫和なる氣候に由るべしと雖も又飲用水の清冽に歸せざるべからず。ブルラン水はフールド山下の雪溶水なるを以て酷暑の候と雖も氷水を用ふるに及ばず。近來市の發展と共に從來のものゝみにては需要を充すこと能はざるを以て、水道局にては更に百萬弗を投じて第二水道を布設せん計畫中なり。

ポートルランド公園は甚しく大ならずと雖も最も眺望に富めり、眺望及散策にはシチーパーク、カンシルクレスト、マクレイパーク、ハラデイパーク、ホーソンパーク等あり、又馬車を驅るには美麗なるウキラメット河に沿ふリバーサイドドライブ、セントヘレニスブレバリー、ウキラメットブレバリー、コロムビヤブレバリー、カンシルクレストドライブ等尤も有名なり、又試に市の南端に峙つカンシルクレストに上りその一千二百呎の高地より眺望すればフールド、セントヘレンス、ジャウアソン、アダムス、レネーア等の高峯は一瞬の間に集る

來る。此等は皆九千七百五十哩乃至一萬四千五百二十八呎の高峯にして四時白雪を頂く、而して汪たるコロムビヤの巨流と美麗なるウキラメットとは松林原野の間を迂回し、丘陵阜岡の陰に隱現する風光の美は實に天成のバナラマ觀なりとす。

◎郊外

ポートルランドの郊外は皆電車にて達することを得るが故に美麗なる邸宅を近郊に構ふる富豪も少からず。その尤も有名なるものはマウンターバー、サンサイド、ウツドロイン、アーピリングトン、モンタピラ、ウツトストック、ウエバリー、セルウッド、ロースンチーパーク等にして河の東岸に在り、西岸の丘陵に在つてはフルトシ、ウキラメットハイトポートルランドハイト等一種貴族的の郊外をなす、而して此等の郊外は春花の農秋月の夕都門の紅塵を避けて煩忙なりし一日の鬱散に適す。更に遠きを望めばウキラメットの上流にはミルウオキー、オレゴンシチー等の勝地あり。下流にはセントジョン、リントンあり又クラカマス河の上流には、キャザデロ、エスタキヤダ等幽邃の別天地あり、コロムビヤ河の彼岸にはワンクーパーあり、夏の日曜日には一日の遊散に赴くもの甚だ多く、若しそれ市の西より南に延々たる丘陵に至つては四時の跋涉に適するを以て、市は數十萬弗を投じてこれを連絡する一大ブレバリーを開設せんとす。

◎薔薇祭

ポートルランドは一名ローズンチー(薔薇の都)と稱し、爛熳馥郁たる薔薇花を以てその名全國に高し、蓋しポートルランドの庭園には至る所薔薇の咲かざるなく、冬時白雪積んでなほ薔薇のその下に咲くを見るはポートルランドを除いて他に見ざる所なりとす。是を以て毎年六月上旬薔薇満開の候をトして薔薇花品評會を開き、また薔薇祭なるものを舉行す、祝祭は一週間にして州内の都邑又これに参加し盛大なる山車の行列等あり、在留日本人も毎年國風の山車を出してこれに参加す。蓋し薔薇祭は起原甚だ近しと雖も今日に於ては彼のニエオルレアンス市のマルヂクラス祭、セントルキスの覆面の預言祭等と併び稱せられ、附近の諸州は元より東部地方より參觀するもの尠からず。

◎富士の裾野 阿蘇宗谷兩艦の練習艦隊を率ゐて當沿岸に來航されし伊知地少將が去る六月我ポートルランド市に來遊されたる折なりき少將はカウシルクレストの高陵に開かれたる同胞の歡迎會場にて遙かに扶桑峯に似たるヘレンス山を眺め同胞に訓として曰く「諸君は富士の裾野に在りて其業に従ふものなり、之れ決して偶然にあらず、諸君は朝夕此靈山を眺めつゝ必ず母國を愛するの情を忘るべからず」と一座悉く少將の意を了し愛國の情自づから其眉宇の間に現はるゝを覺へたりき。

第二編

オレゴン州の日本人

第一章 官 府

◎帝國領事館 (ワシントン樓上)

領 事 沼 野 安 太 郎
書 記 生 秋 洲 郁 三 郎

オレゴン州ポートルランド市には從來シアトル市帝國領事館の分館あるのみなりしが日本政府は昨一千九百〇八年九月より獨立の領事館を當市に設立するに至り、其創立者として派遣されたるは沼野領事なり、沼野領事は少壯遣外官中に於て敏腕家たるの驍名あり、其赴任以來、或は米國官民間に或は在留同胞間に多大の信認を享け帝國政府の派遣官として能く任務を盡し又在留同胞の擁護者として常に奮勵奔走し實に好平得難きの人材なりと云ふべし、因みに當市領事館の管轄區域はオレゴン、アイダホ及ワイオミングの三州なり。

第二章 公共團體

◎オレゴン州日本人聯合協議會

我がオレゴン州に於て在留日本人を以て組織せられたる團體少なからず、然れども日本人聯合協議會は此等幾多の小團體を網羅せる最高の在留同胞機關にして、其設立は一千九百〇九年二月なり、又其組織は一ヶの代議制にして、各團體中より撰定されたる代議員を以て之れを組織す、目下同會に加盟せる團體は十一個なり其現在役員及代議員は左の如し

- 會長 下村 眞 鋤
- 副會長 若 林 性 隨
- 幹 事 高 橋 光 顯
- 會 計 松 島 茂 三 郎

- 代議員 下村 眞鋤 若林 性隨 高橋 光顯 松島茂三郎 仁熊長太郎
 - 妹尾 萬郎 山田 耕 湯木庄次郎 竹岡 大一 清水 巧便
 - 大村 正一 田中 政治 井上 熊吉 鬼竹 才造 鳥居 藤吉
 - 林 喜太郎 山田 良助 岡本 角次 妹尾 玄逸 長谷川利衛
 - 木村 常吉 鳥越若三郎 松本 庄助 前田 利吉 丹原 忠
- ▲オレゴン州日本人聯合協議會に加盟し代議員を選出しつゝ、ある各團體は左の如し

- 零 五 會
- 岡山同志會
- 広島縣人會
- 農業同志會
- エボース同盟會
- 土 曜 會
- 防長同志會
- 藝備協會
- 東俱樂部
- 山口縣人會
- セーラム清和會

▲宗教團體

- 美以教會 藤井 牧師
- 佛教青年會 若林開教師

▲婦人團體

- 婦人矯風會
- 婦人法話會

▲娛樂機關

- 体 育 會
- 野球俱樂部
- 記者俱樂部
- 庭球俱樂部
- 學生俱樂部
- 風土會(文學)
- 寫眞俱樂部
- 曙座(歌舞伎)
- 薔薇團(新演劇)

▲地方團體

- 互益協會 (フッドリツア市)
- アストリア日本人會(アス市)

▲組 合

- ボートランド商業組合
- 蜂谷 商店 長谷川商店 伴 商店 仁熊 商店
- 染川 商店 松島 商店 古屋 支店 小路 商店

○旅館組合
○飯屋組合

○湯屋組合
○床屋組合

○料理屋組合
○醫會

第三章 日本人の産業

オレゴン州に於ける日本人の事業は米國人又は他の歐洲移民の經營しつゝある者に比して其範圍未だ廣からずと雖、過去二十餘年來の経路は常に進取主義を以て益々發達の域に到り、極めて有望の形勢を示しつゝあり、去る一千九百〇七年の日米移民制限協約の影響は少なからず其進路に對して障礙となれるものありと雖、三千の在留日本人の猛進的奮勵は能く此等の障礙を排し、且つ零七年初冬以來米國財界に於て生ぜざる大恐慌時代の壓迫に堪へ、零九年の初春よりは所謂地上の勢力を益々増大し其發展の實を擧げつゝあるは同胞社會前途の爲めに大に慶すべく殊に商業及勞働界のみならず漸次オレゴン州に於ける富源開拓の急先鋒となり農事に従事するもの多からんとするの趨勢あるは最も注目すべき好乎の前徴なりとす。

第一節 新聞會社

一、邦字新聞

◎**央州日報**

同紙はオレゴン州に於て、日本人の發行しつゝある唯一の日刊新聞にして在留同胞一般の

公平なる言論、報導の機關なり、社及社員は左の如し

社 市北第五街十一番地

社主 阿部 豊治 社員 成澤金兵衛、妹尾 萬郎、大塚 俊一(シアトル)

關 治助(スポーケン)三宅 太郎(フッドリヴァ)工藤陽太郎(日本)

◎**他州新聞支社**

沙港に於て發行せる新聞の支社左の如し

北米時事支社(ミカド旅館内) 主任 宮崎徳之助

旭新聞支社(シアトルハウス内) 主任 福田六右工門

二、會社

◎**哥倫比亞殖産會社**

同會社は一千九百〇八年六月に創立せしものにして資本金三万五千弗其所有農園は一千九百英町なり、同會社は我がオレゴン州在留同胞の組織せし株式會社の嚆矢なりとす、同農園内に於て栽培中のものは果樹小麥野菜等にしてゼダラスを去る八哩のポイド農園より市市場に向つて其産物を供給す、社長以下の役員及所在地は左の如し

事務所及農園 オレゴン州ポイド

社長 下村 眞鋤

副社長 沖田 彦市

支配人 西崎 庄八 會計 重村 三郎
 取締役 蜂谷 桎吉 牧野伊三次 重村 三郎 高松元四郎
 安井 益男 鍛川 佐一 下村 眞助 沖田 喜市
 西崎 庄八

○大和薪炭株式會社

同會社は一千九百〇八年十二月に設立せるものにして資本金一万弗其營業は薪炭賣買にあ
 り、内外人間に多額の薪を供給す、其所在地左の如し

事務所 ポ市東區第六街メーン街角

社長 蜂谷 桎吉 副社長 長谷川利衛
 支配人 鍛川 佐一 會計 阿南 惟徳
 商業部主任 荒井 松藏 山林部主任 阿南 米作
 外評議員 十 名

◎伴製材會社

爾來クインシーに於て電柱製作業をなしつゝあり、伴商店主は一千九百〇九年六月よりコ
 ロムピヤスルーに於て新に數万弗を投じ、屋根板製材會社を起し百馬力の蒸氣力機械を運
 轉し四臺の製材機を以て多數の屋根板を製作しつゝあり、オレゴン州に於ける邦人の製材
 會社は之れを以て嚆矢とす、尙同地には『ニス、パン』なる電車鐵道の停車場を設けたり

事務所工場 コロムピヤスルー

社長 伴 新三郎 事業主任 クレモン
 支配人 下村 眞鋤 事務主任 藤山 政助

第一一節 市内營業者

ポートランド市内の日本人はクーチ、デビス、エウレット諸街を中心として一千名内外に
 して夏季は九百名に下ることあるも冬季は一千五百に達することあり、ポートランドは桑
 港、沙港の中間にある中央市街なるを以て、漸次南北兩地方より集合し來るもの多く、殊
 に鐵道キャナリイ其他の勞働口多數あるのみならず、近來益々農業牧畜の隆盛ならんとす
 る形勢あるを以て、各州農業者移住し來るもの少なからず、故にポートランドは獨り、オ
 レゴン在留日本人のメトロポリスたるのみならず、沿岸在留日本人社會の首府として認め
 らるべき好望の運命を有す、而かして是れが事實として現はるべき時代は我がオレゴン州
 の廣寬たる富源が在留日本人農業者の手によりて益々多く開拓せられんとする近き未來に
 ありとす、比較的市内在留者の少數なるに反して日米雜貨食糧品販賣其他の商店が少な
 らざるは、將に是れ等の機運を開きつゝある徴とすべく、實にポ市附近其他の地方に於
 ける同胞の發展は日に々其見るべき者多からんとす。

一、商店

⑤ 伴商店 (ボ市北第三街三四)

伴商店は伴事務所と共に明治廿六年開業し日本食料品雜貨及日本酒等の直輸入商にして米國雜貨をも鬻ぎ尙ほ店内に米國郵便支局あり郵船會社、大坂商船會社の切符取次をなしコロラド州デンバー、ワイオミング州セリダン、日本東京に支店を構ふ等同胞の大商店なるが店主は伴新三郎支配人は下村眞鋤なり

⑥ 蜂谷商店 (ボ市北第一街四〇)

蜂谷商店は同旅館を併せ明治三十三年開業し米國雜貨及び洋服販賣と共に日本食料品雜貨の直輸入商にして郵船會社の切符取次をなし尙ほボ市バンサイド街二八一に支店を有し重に時計寶石類を販賣なし居れるが店主は蜂谷極吉なり

⑦ 古屋支店 (ボ市北第四街五一)

古屋ボ市支店は沙港なる本店により明治二十七年九月設置されたるものにして日米雜貨日米食料品及日本酒の大販賣をなし居れるが殊に精米所を有して盛に米穀の賣出しに勉む現支店長は内田堯なり

⑧ 仁熊商店 (ボ市クーチ街二四七)

仁熊商店は明治三十八年開業し米國雜貨と共に日本食料品雜貨の直輸入商にしてオレゴ

ン州フールドリバーに支店を有す店主は仁熊長太郎なり

⑨ 松島商店 (ボ市デビス街二六四)

松島商店は明治三十七年開業し米國雜貨と共に日本食料品雜貨等の直輸入商にして殊に花蕙の大販賣をなす店主は松島茂三郎なり

⑩ 染川商店 (ボ市エツレット街三二一)

染川商店は其初め旅館のみなりしが明治四十年商店を開業し日米雜貨食料品を販賣し尙洋食店をも經營し居れるが店主は染川愿策なり

⑪ 長谷川商店 (ボ市エブレット街二六五)

長谷川商店は明治三十七年開業し日米食料品雜貨等を販賣し居れるが店主は長谷川利衛なり

⑫ 小路商店 (ボ市クーチ街二四九)

小路商店は明治三十九年開業し日米食料品雜貨等を販賣し居れるが店主は小路虎喜なり

⑬ 小原商店 (ボ市第三街二八七)

小原商店は明治三十五年開業し竹細工日本美術品等を販賣し廣く白人間に商路を開き居れるがモリソン街三五二、東モリソン街四〇六に支店を有す店主は小原柳藏なり

⑭ 桐山商店 (ボ市ワシントン街四八二)

桐山商店は明治三十八年の開業にして日本美術品雜貨類を販賣す店主は桐山良太郎なり

井上商會 (ポ市ワシントン街四四四) 井上商會は明治三十八年の開業にして日本美術品雜貨類を販賣す店主は井上要藏なり

二、醫師

○ポ市日本人醫會

- 會長 内外科 金森久太郎 第一街蜂谷旅館内
- 幹事 同 山田 耕 エブレット第三街角
- 同 大友 修平 第三街伴商店上
- 同 中山 芳定 第四街井上旅館内
- 齒科 渡邊 忠吾 エブレット第三街角

○齒科醫 山谷芳三郎 ポ市井上旅館第七號室

三、旅館

○ポ市宿屋組合

- 井上 旅館 井上 熊吉 北第四街五三
- 蜂谷 旅館 蜂谷 証吉 北第一街四〇
- 染川 旅館 染川 愿策 エブレット街三三七

ミカドホテル

鳥越若三郎

エブレット街二六二半

東洋ホテル

深川 倉吉

エブレット街三四七九

藝州屋旅館

新井 權次

エブレット街二六八半

以上六戸

- 山陽旅館 阿部淺太郎 クーチ街三一五
- シアトルハウス 宮本 大藏 北第三街三〇半
- ターミネス旅館 湯淺虎之助 北第三街八〇半
- レベヤールハウス 角田 兄弟 第一街二五一半
- ワシントンホテル 前田 操 第三街フランダー角
- パークハウス 大木源次郎 北パーク街一〇七
- 丹原旅館 丹原 忠 北第六街五二
- 丘陽ホテル 山崎作太郎 エブレット街
- 防長旅館 吉村 兄弟 北第四街六
- 三宅旅館 三宅 せん 北第三街九三半

其他二三あるも之れを略す

四、洋食店

- パンサイド洋食店 速川徳太郎
 - ホーム洋食店 高林歌次郎
 - アドルフ洋食店 中島 彙藏
 - ニユーヨーク洋食店 山本、米田
 - ミカド洋食店
 - キヤメリヤ洋食店
 - ユニオン洋食店 有末 與一
 - 東京洋食店 河村利三郎
 - グラント洋食店 廣田 熊吉
 - シカゴ洋食店 染川 愿策
 - サンライス洋食店 淵上 龜穂
 - ニユーヨーク洋食店 井村元次郎
- 五、日本料理店
- 正順亭 青木安太郎
 - 恵比壽屋 本田 勝吉
 - 東京庵 長谷川淺吉
- パンサイド街二八三
 - パンサイド街二七二
 - パンサイド街二七〇
 - パンサイド街二二六
 - パンサイド街二三一
 - パンサイド街二三〇
 - 北第三街二九
 - 北第三街六五
 - 北第三街八五
 - 南第一街二二八
 - 南第一街
 - 南第一街二五二
 - 北第二街四三
 - 北第四街四六
 - 北第四街四六

- 開花亭
 - 松壽庵
 - 梅壽庵
 - うらてん
 - かさぎ
 - 三笠
 - かもや
 - 高砂
 - 都湯
 - 千歳湯
 - 大和湯
 - 玉の井湯
 - 常盤湯
 - 日の出湯
- 六、日本飯屋
- 大江 太吉
 - 田島松太郎
 - 沼田健太郎
 - 田中 政治
 - 小野田真太郎
 - 平澤 恒一
 - 新井文左衛門
 - 山田 保吉
- 七、和洋風呂洗濯所
- 鍛川、青野
 - 秋山、蜂谷、矢吹
 - 砂田多平次
 - 角田新三郎
 - 柏木 仁藏
- クイチ街二四八半
 - 北第四街四四
 - クイチ街二四五
 - 井上旅館裏
 - デビス街
 - 北第二街六五
 - デビス街二六八
 - 北第四街四三
 - エブレット街二六四半
 - エブレット街二六四
 - 北第四街四六
 - デビス街二六六
 - 北第二街四九
 - 北第一街五二

旭湯

吉村兄弟

北第四街六

八、西洋風呂洗濯所

- △品川逸次郎 クーチ街二三二
- △平松辰三郎 パンサイド街二九一
- △落久保悦次 フランダール街三一三
- △蜂谷久吉 東ルッセル街六九
- △花岡 東ルッセル街一五二
- △中村幾太郎 北第二街三
- △山下治郎吉 南第一街
- △井田辰五郎 フード街
- △前田藤五郎 ルッセル街二二〇
- △佐々木(洗濯所)デビス街

九、洋服洗濯染替プレス

- フレンチダイオーク 松井、内山
- エー、ビー、ダイオーク
- グリソン街四四五
- 東パンサイド街二四六

十、理髮所

- 中村床 北第二街三
- 角田床 北第二街四九
- 竹内床 エブレット街二六七
- 野崎床 北第四街九七
- 森下床 北二街三二
- 平松床 パンサイド街二九一
- 松重床 北第二街一〇
- 松布床 南第一街

山下床

南第一街三〇二

岸床

パンサイド街三二〇

十一、玉突場兼果物煙草店

- 木田富三郎 エフレット街二九八五
- 森本光治 デビス街
- 石川久作 北第四街四三(果物煙草店)
- 新井平六 クーチ街二四四半(果物煙草店)
- 秋山恒太郎 パンサイド街三三〇
- 新井權次 エブレット二六八半
- 大和湯 北第四街四六
- 品川逸次郎 クーチ街二二八
- 宮本一朗 クーチ街二四八
- 矢吹 北第四街二

十二、桂庵通辯人夫口入業

- 鐵道人夫口入業 伴 事務所 北第三街伴商店内
- 東洋貿易會社バスコ支部 井上 熊吉 北第四街五三
- 公益社(労働口周旋) 熊本秀太郎 エブレット街二六八
- 法律事務所通辯及紐育生 高橋 光顯 北第五街八七
- 命保險會社日本人代理 松井 頼定 北第四街井上旅館内
- 法律事務所通辯 松井 頼定 北第三街シアトルハウス一號室
- 通辯業 橡尾 長利 北第三街シアトルハウス一號室

十三、雜業

- △土買賣周旋業地 日米用達社 稻葉、曾谷
- △哥倫比亞信託會社日本人代理人 畑 敏夫 北第三街シアトルハウス十五號室
- △山陽商會味噌、醬油、麴製造 福田、阿部 クーチ街三一五
- △寫真業 センチュリー寫真館 齋藤 鎰治 第三街一〇七

日光寫真館

水沼、桑原

北第四街四三

△米真舎印刷所

クイチ街三〇四

△萬友社

北第五街一一

△頭井時計店

頭井 與吉

北第四街五五

△平田洋服店

平田

デビス街二七〇

△船串洋服店

船串金三郎

クイチ街三〇二

△忠隈靴舗

忠隈 忠二

パンサイド街三一〇半

△生魚蠣青物類

齊藤 英治

デビス街二四七半

△豆腐屋

長橋 音吉

デビス街二六六

△荷物運送業

小林元次郎

北第四街五三

△中山労働事務所

佐藤 恒太

エブレット街二六二半
東十六街二一〇

第三節 地方市邑の營業者

▲アストリヤ

△林旅館 玉突場

△坪井旅館

△山田洋食店

△日の出料亭

△日本風呂

△天狗料亭

△日本飯屋

▲フイドリバー
其他二三の洋食店、理髮所等あり

△安井兄弟商會 日米雜貨食料品、旅館、労働口周旋

△仁熊支店 日米雜貨食料品、旅館

△吉成 日本飯屋

▲ゼーダラス

△畑半次郎 玉突場煙草店 其他洗濯業者等あり

▲セーラム

△青木洋食店 碓井支那料理店

▲ペカシテ

△平田商店 日米食料品雜貨、旅館、玉場

▲ラグラント

△溝口商店 日米食料品雜貨

▲ペンネルトン

△平岩商店 日米雜貨食料品

▲ペール

△高原洋食店及ランドリー 高原 丈平

第四節 日本人農業者

我がオレゴン州は在留日本人に完全なる土地所有權あるを以て農業者に執つては無二の好地方なり、殊にウキラメット流域、コロンビヤ流域、中部オレゴン及東部オレゴンの各平原を通じて地味肥沃土壤豊饒なるを以て果樹園、菜園又は穀野として佳ならざるなく、既

に各地方を通じて農業收畜業に従事しつゝある者は五百餘名に達せり、然れどもオレゴン州の廣寛たる大平原の富源より見れば同胞農業者の事業未だ微々たる觀あるは免かれず、只近來同胞社會の益々此點に注目するもの多く、其有する特種を利用して、大發展をなさんと企畫しつゝあるもの増大しつゝあるを以て當州に於ける同胞事業中最も多望なるは農業牧畜業たるべきは何人と雖これを認めつゝある處なりとす、今同胞農業者の重なるものを列記すれば凡そ左の如し

●ポートランド市附近
▲モンタピラ地方 (マンテバーを含む)
ボ市附近の農業者の作物は多く野菜小麥等也

姓	名	英町
山田	農園 (所有)	二〇〇
川本	彌吉	八〇〇
堀和	農園	四〇〇
横田	農園	三〇〇
吉田	農園	二二五
河野	農園	二二〇
代田	金吾	二〇〇
西本	菜園	二〇〇
増原	勘一	一五〇
渡邊	農園 (借地)	八〇〇
古益	林藏	五〇〇
脇本	農園	三〇〇
大塚	農園	二二七
重本	惣一	二二五
松川	伊藤組	二〇〇
安藤	菜園	二〇〇
橋瓜	農園	二〇〇
鈴木	菜園	一五〇
宮崎	勝馬	一五〇
田村	貞一	一一〇
野田	順太郎	一一〇
沖田	辰次郎	一〇〇

有働 菜園
小川 菜園
川本 音次
吉富 助藏
紫藤重太郎
外數名あり

一三五
一一一
一一〇
一一〇

宮崎 勝馬
田村 貞一
野田 順太郎
沖田 辰次郎

一五〇
一一〇
一一〇
一〇〇

姓 名
宮本 益次 (所有)
藤井 良人 (借地)
久我 藤一
青木 安太郎
海野 富吉
大川 農園

▲リヴァサイド地方

(トラウトテール、クレオ其他)

英町
四七
四二
四〇
二五
二〇
一八
一五

姓 名
尾崎 虎雄 (所有)
片山 豊元
吉田 大五郎
星子 菜園
三浦 梅次
松浦 菜園

英町
一〇〇
四〇〇
三三〇
二二五
二〇〇
八

▲オスウエゴ地方

畑 已之十
野尻 已之十

増永 龜太郎

三五

▲ヒルステール地方

山田 良助
元岡 聰明
吉野 菜園

外二名(借地)二〇〇
三六

大野 農園
牧野伊三次

四〇
三〇

末松菊次郎
中島松太郎
松島近吉
戸部松太郎
外數名あり

三〇〇
二〇〇
一〇五

角田梅吉
小林金三
遠藤頼太
吉備農園
(養鶏)

二〇〇
二〇〇
一〇五

伏見 農園 (所有)
難波

六〇

渡邊 貞助

▲グレッツシヤム地方
一八

金谷 雅一

▲オレゴンシチー地方
三五

◎セーラム市附近

福田金三郎(ハツブス)

▲ボロツクス
一〇〇

三苦長太郎(ハツブス)

▲インデペンデンス
一〇〇

◎フツドリヴァア市附近

フツドリヴァア附近の農業者は多く林檎、苺、野菜等を栽培す

▲オレデール(七哩)
アツプル、ベリー

綿貫 矢櫃組

三〇

爲野 平澤組

アツプル、ベリー

一八

沖田村中組

▲マウンツアツプル(一六哩)

▲デー アツプル、野菜(二七哩)

二五

森岡 英彦

▲フ市近郊(一哩)

五一

弓部 清吉

▲クラツバ(六哩)

一七

小崎仁四郎

▲野菜、苺

二七

三好片山外一名

▲同 アツプル

二〇

伊丹 朝次

▲苺、野菜

一〇

森芳右工門

▲ホワイトサモン(對岸二哩)

二七

藤島 貞次

▲野 菜

二七

要田、田中組

▲同

一〇五

浅沼 組

▲アンダーウツド

一〇五

獨立の農業者なし

(註) 林檎及び苺地として有名なる地方なるを以て苺の時に當地方に入出入する日本人は約二百五十人にして林檎收穫の時に於ては三百餘人の日本人集合す又同地方に於ける日本人は一年中平均四百名ありといふ尙華州に屬する同年哥倫比亞對岸たるホワイトサモン地方の農業者百餘名あり同じくフツドリヴァア近郊と稱すべきにより左に借地小作をなしつゝあるものを掲ぐべし

第五節 地方の雜業者

◎日本人の伐木者

▲グレッツシヤム、レンツ附近

我がオレゴン州は山林に富み、薪炭の産出極めて多きを以て、在留同胞中此事業に従事するもの少なからず、現にグレッツシヤム及レンツ附近に於て此事業の請負業者となり若しくは其労働者として従事しつつあるもの二百餘名あり

◎日本人の牧場

伴

乳牛場

クインシー

◎日本人の花園

日本植木商會

ボ市ローレルウッドパーク

◎日本人の鐵道工夫

在留日本人の過去は全く鐵道線路に沿ふて發展せるものにして我がオレゴン州ポートランドを中心とせる其發展の範圍は多くオー、アール、エヌ線及エス、ビー線、エ、エンドシ線及オレゴンシヨートラインの諸線に對して密接の干係を有す、是れ我が同胞の多數が其最部の階梯は多く鐵道就働に置きしを以てなり。商人農業者、伐木業及家内労働者を除きては多數の労働者は現に鐵道諸線にあり故に伴事務所の手を経て鐵道に就働しつつある

もの各線を通じて一千八百餘名とす

◎日本人のキャナリー人夫

アラスカ地方の鮭罐詰業及アストリヤ鮭罐詰業に従ふ當時在留日本人は五月より十月の間に於て五百餘名とす其多數は支那人契約者の下請け人として就働するものなるも直接米國人の漁業會社と契約し罐詰製造をなしつつあるものなきにあらず、鮭其他の魚類罐詰業者以外に果實罐詰工場に就働しつつあるもの數十名あり

◎日本人の屋内労働者

オレゴン州中日本人の屋内労働者が最も多數なるは勿論ポートランド市なり、而して沿岸の大ホテルとして有數のポートランドホテル及オレゴンホテル、其他のホテル、レストラン、住宅、商店等に使用人として就働しつつある日本人は、市中各街を通じて六百人に達す、ポートランド以外の市邑、アストリヤ、セーラム、ベカーンシテ、フットリヴァゼ、ユーージン等に於て屋内労働に従事しつつある日本人は各市五六名乃至十數名に過ぎず

◎日本人の土地所有者

在留日本人の共有地としては墓地、會社又は宗教團體所有地等に過ぎずと雖、個人として宅地又は耕地を購入せるもの數十名に達せり、既に幾回となく如上に述説せる如く我オレ

ゴン州の法律は市民たることを得ざる外國人と雖善意の住居者は悉く土地を所有し得る權利を有するを以て日本人なるが爲に此權利を有せざるの理なく寧ろ土地所有者は益々日本人の土地購入者を歓迎しつゝあるの傾向あり、是れ日本人は金融取引上の信用厚きを爲めにして新住民の益々増加すると共に價の騰貴愈々急速なる今日に於て土地の購入はオレゴン州在留同胞社會の確乎たる基礎を造る者なるのみならず、一ヶの營利事業として最も其當を得たる者なりと言ふべし。

(附記)

日本人發展の方向

加州に於ける日本人排斥運動は學童隔離問題より同胞營業者に於けるボーイコット問題となり此等方法を以て多少我が在留日本人社會を害し得たる彼等一部の米人は更らに進んで我が日本人の根據地を突かんとし遂に土地問題を以て其銳鋒となし、一撃の下に同胞社會の敗潰を期せんとしたりき然れども土地所有權問題又は借地權問題は同州に於ける同胞社會の死力を以て争はざるべからざる根據地にして我が同胞が加州に於て今日の如く盛大なる發展をなし得たるも畢竟此等の根據地を造りたるが爲めに外ならずし如く今後の運命も一に此土地問題に係つて決すべきものなりき、然り加州米人が其最後の排斥手段として土地問題を提げ我が同胞の根本的利權を奪はんとしたるは既に加州在留の同胞が地上の大勢力を占めつゝあるを看破し、遂に州議會の力を利用して、在留日本人の將來を斷絶せし

めんとしたるものなり、故に加州に於ける土地問題は如何に同州の日本人が強固に而かも確實に其根據を地上に播殖せしか 証明するものなり、而かして彼等加州米人の全力を以て盡して之れに争ひたる銳鋒に對して、旗鼓堂々、正々の陣を張りて、最後の勝利を得たる我が同胞社會は是れ正さしく既得の利權を其地上に於て占めたる結果と云ふべく、如何なる排斥方法も殆んど水泡に歸したる主因は全く、日本人の地上に於ける權利獲得を重視したる爲めなりとす

我がオレゴン州に於ては未だ重視すべき排斥の聲を聞かずと雖、今日に於て之れを豫期し若しくは之れに對する確固たる手段を講じ置くも強ち無益の業にあらざるのみか、而かも今日に於ける土地所有の特權を利用して、一定不動の根據を鞏むるの要あるべきは敢えて識者の豫斷を俟つて知るべき事項にあらず、特に我オレゴン州は他州と等しく商工業に隆なる地方たるのみならず他州に優る富有的地域と、既拓の農園を有し現に『農業者のオレゴン州』と稱せられつゝあるが如き形勢より見ても我が在留同胞の將來益々發展すべき餘地は將さに此種の方角たること疑ふべきにあらず、而して其企畫の時機は今日を措いて他になし

今日

に於て之れをなさざるべからざる理由は少なからずと雖、其重なるものはオレゴン州に於ける人口増加の趨勢に應ずべき當然の策を要することは是れなり
爾來『鐵道なき中部オレゴン』と稱せられたる廣莫たる地方は近々にして數條の鐵路を有

するに至る計畫あり、而かも年々百万以上渡米する歐洲移民中、二十万餘の人員は我がオレゴン州の開拓者に來らんとしつゝある形勢あり或る鐵道會社の重役が言明せる處によれば今後十年間に於て我がオレゴン州は優に二百五十万の人口を有するに至るべしと即ち現在人口の五倍人數は近々十年間に於て、所謂オレゴン在住者として、其居を有するに至るべし、此等の豫想は過般ボ市商業俱樂部員等發起の下に『二千九百十二年五十万俱樂部』なるものを組織してボ市の人口を今後二年後に於て二倍の數たらんとしつゝあるものと相應して世人の最も興味を感じつゝあり處なり、形勢既に斯くの如しとせば我が在留同胞將來の運命は果して如何、一定不動の根據を有せずして此等の歐洲移民と相對抗するを得べきか是れ大に考慮を要すべき處にして又必ずや今日に於て百尺竿頭一步を進め、其十年後の發展時代に備ふべき也試みに過去の事柄に於て見よ、昨年春一英町二百弗の耕地が今夏に於て四百五十弗の地價となり、昨冬に於て五百五十弗の宅地が未だ一年を経ずして既に八百弗の時價となれるが如が事實を市の附近に於て之れを見つゝあり、斯くの如きも其主因とする處は人口の増加にあり、而かも今後十年にして如何なる變遷を見得べきか、我が同胞の考察すべきは此點なり、今日にして若し備ふる處なくんば後日必ず無根據にして宛然浮雲の如き同胞社會を見ることを得んのみ、然りオレゴン州の今日は在留同胞一般の最も注目すべき好適地也





1964

25
867

央玲崑事情

1909

国立国会図書館

026888-000-2

25-867

央玲崑事情

工藤 陽太郎

阿部 豊治 / 編

M42

ADG-0004

